

山梨大学における入学者選抜改革の取組

「2020年度以降の入学者選抜の基本方針（まとめ）」  
（令和元年7月末）  
（追録版）

※ 本誌冊子において新たに公表する内容は、      の記載部分となります。      以外の記載は、これまで（2019年7月末）に公表した内容となります。

〔工学部では、令和2年4月から「情報メカトロニクス工学科」の学科名称を「メカトロニクス工学科」に変更します。〕

令和元年7月29日  
（令和元年10月29日）

山 梨 大 学

# 目 次

《略号》

★印のある項目は、今回、確定し公表する項目を示します。

▼印のある項目は、既に公表した内容から変更等がある項目を示します。

## はじめに

### ▼ 山梨大学の入学者選抜方針（アドミッションポリシー）…………… 1

※2019年3月「2020年度以降の入学者選抜の基本方針（第3報） 別冊」の公表内容の記述の加除修正をしました。

### I ▼入学定員（募集人員）予定…………… 18

※2019年3月29日「2020年度以降の入学者選抜の基本方針（第3報）」で公表した医学部医学科学学校推薦型Ⅱの募集人員を訂正しました。

### II 令和3（2021）年度入学者選抜方法の概要…………… 19

#### 1 ▼多面的・総合的な評価の実現に向けた基本方針について…………… 19

※2018年10月31日「2020年度以降の入学者選抜の基本方針（第2報）」の公表内容の記述の加除修正をしました。

#### 2 ▼各学部における大学入学者選抜改革の特徴について…………… 19

※2018年10月31日「2020年度以降の入学者選抜の基本方針（第2報）」の公表内容の記述の加除修正をしました。

#### 3 ▼個別学力検査等において提出を要する書類等について…………… 20

※2018年10月31日「2020年度以降の入学者選抜の基本方針（第2報）」の公表内容の記述の加除修正をしました。

#### 4 一般選抜以外の選抜方法の概要について…………… 21

#### 5 ★大学入学共通テストにおける英語認定試験の活用方法等…………… 21

##### (1) ★一般選抜における英語認定試験の活用方法…………… 22

##### (2) ★総合型選抜Ⅱ・学校推薦型選抜Ⅱにおける英語認定試験の活用方法…………… 22

#### 6 ★大学入学共通テストの記述式問題の活用方法等…………… 22

##### (1) 数学の記述式問題…………… 22

##### (2) ★国語の記述式問題…………… 22

#### 7 教科・科目の表記について…………… 23

#### 8 一般選抜（個別学力検査）の概要…………… 24

##### ★生命環境学部の小論文試験について（概要）…………… 25

#### 9 学校推薦型選抜・総合型選抜の概要…………… 27

##### (1) ▼教育学部『学校推薦型選抜Ⅰ』…………… 28

※2019年3月29日「2020年度以降の入学者選抜の基本方針（第3報）」の公表内容から変更があります。

##### (2) 医学部『学校推薦型選抜Ⅰ』、『学校推薦型選抜Ⅱ』…………… 29

##### (3) ▼工学部『総合型選抜Ⅰ』、『総合型選抜Ⅱ』…………… 30

※2018年7月30日「2020年度以降の入学者選抜の基本方針」の公表内容から変更があります。

##### (4) 生命環境学部『総合型選抜Ⅱ』…………… 33

#### 10 ▼一般選抜等（入学者選抜の実施教科・科目等）…………… 34

※2018年7月30日「2020年度以降の入学者選抜の基本方針」の公表内容から生命環境学部生命工学科における前期数学の選択科目を訂正しました。

### III 入試情報に関するホームページ等…………… 50

## はじめに

山梨大学では、これまで3回に分けて「2020年度以降の入学選抜の基本方針」として、確定した入学選抜の基本方針の概略を順次お知らせしました。

今回は、『大学入学共通テストにおける英語認定試験の活用方法』、『大学入学共通テストの国語記述式問題の活用方法』のほか、『生命環境学部の一般選抜（前期日程）で課す小論文の概要』についてお知らせします（※目次において、★印を付しています）。

また、これまで公表した第1報から第3報においてお知らせした内容等を1冊にまとめ、より見易く事項別に改めて整理しましたので、本学の入学選抜改革の取組をご確認いただければ幸いです。

なお、これまでお知らせした「2020年度以降の入学選抜の基本方針」の内容に関し、その後の検証等を重ねる中で、先にお知らせした公表内容の一部を変更いたしました。説明表記における一部加除修正のほか、特に重要な変更箇所には、アンダーライン、注釈、対比表等で明示しましたので、改めてご確認ください。（※既に公表した内容において訂正若しくは変更した項目には、目次において、▼印を付しています）。

一般選抜における『大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点』、学校推薦型選抜Ⅱ、総合型選抜Ⅱにおける『大学入学共通テストの配点等』は、今年度10月末を目途に追録として公表します。

また、「一般選抜」、「学校推薦型選抜」、「総合型選抜」の選抜方法の詳細は、令和3年度入学選抜要項において公表します。

### ◀これまでに公表した内容から変更若しくは訂正した箇所▶

- P12 【工学部情報メディア工学科】〈試験区分別の入学選抜の基本方針〉の説明を下線部分に修正
- P15 【生命環境学部】求める資質・能力・人物像及び「生命工学科」〈試験区分別の入学選抜の基本方針〉の説明を下線部分に修正
- P16 「地域食物学科」〈育成目標と求める能力・人物像〉、〈試験区分別の入学選抜の基本方針〉の説明を下線部分に修正
- P17 「環境科学科」、「地域社会システム学科」〈試験区分別の入学選抜の基本方針〉の説明を下線部分に修正
- P18 医学部医学科における学校推薦型選抜Ⅱの募集人員を訂正
- P19 表1及び表2の項目名を下線部分の表記に変更
- P19 「○学力の評価を十分に行う入学選抜への改善」における説明の加除修正
- P19 「2.各学部における大学入学選抜改革の特徴について」の教育学部における説明の加除修正
- P20 「2.各学部における大学入学選抜改革の特徴について」の生命環境学部における説明の加除修正
- P20 「3.個別学力検査等において提出を要する書類等について」表3「多面的・総合的な評価のための申告書」の生命環境学部の選抜方法欄の表記を下線部分に修正
- P28 (1)教育学部『学校推薦型選抜Ⅰ』の『提出書類・選抜方法等』において下線部分を追加
- P30 (3)工学部『総合型選抜Ⅰ』、『総合型選抜Ⅱ』の『提出書類・選抜方法』において、下線部分に訂正(表記の変更含む)
- P32 『総合型選抜Ⅱに課される大学入学共通テストの利用教科・科目』の『コンピュータ理工学科』に係る下線部分の名称のみ変更
- P41 一般選抜等(入学選抜の実施教科・科目等)(4)生命環境学部生命工学科 前期数学の選択科目から簿(簿記・会計)を削除

# 山梨大学の入学者選抜方針（アドミッションポリシー）

山梨大学では、令和2（2020）年度以降の入学者選抜を実施するためのアドミッションポリシー（入学者選抜方針）を以下のように定めました。本学のアドミッションポリシーは、まず、山梨大学が求める人物像と入学者に求める資質能力を示し、学部ごと、および学科・コース等ごとに、育成目標、入学者に求める資質能力・人物像、入学前に学習しておくことが期待される内容、試験区分別の入学者選抜の基本方針を示しています。

そのうち、**育成目標**は、本学のディプロマポリシー（学位授与方針）、カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）との一貫性を意識し、入学後にどのような力を発展・向上させるのかを簡潔に示したものです。**入学者に求める資質能力・人物像**には、入学前にどのような多様な能力をどのようにして身に付けてきた学生を求めているか、入学後にどのような能力をどのようにして身に付けられる学生を求めているかなどを示しています。**試験区分別の入学者選抜の基本方針**は、入学者選抜において、アドミッションポリシーを具現化するためにどのような評価方法を多角的に活用するのかなどを説明しています。

なお、**入学前に学習しておくことが期待される内容**も学部ごと、および学科・コース等ごとに示していますので、希望する学部、学科・コースに合わせて、高等学校での学習の参考にしてください。

## 《山梨大学が求める人物像》

山梨大学は、「地域の中核、世界の人材」の標語の下、地域の知の拠点として、専門性をもって世界で活躍できる人を育てることを目指しています。これを実現するため、学部・学科などの教育プログラムには、その修了に必要な教養、汎用能力、専門能力をすべて身につけられるカリキュラムが編成されています。本学では、これらのカリキュラムを知的好奇心をもって継続的・主体的に修得して卒業し、専門分野に関する高度な能力を通じて社会に貢献する志をもつとともに、入学時において以下のような基礎的な資質能力を有する人物を国内外から受け入れます。

## 《入学者に求める資質能力<sup>(1)</sup>》

高等学校で履修する、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語等について、内容を理解し、高校卒業程度の知識を有している人その他、各教育プログラムの学修に必要な資質能力（思考力・判断力・表現力など）を有する人

(1) ここでは入学試験で評価できる項目のみが挙げられており、順法<sup>(2)</sup>の精神など、社会通念上大学生が当然備えているべき項目までは記載していません。

## 【教育学部】

### 育成目標 【豊かな人間性と教育文化を創造する教員の育成】

本学の入学者受け入れ方針に加え、教育に対する情熱と課題を解決する高い実践力を備え、豊かな人間生活の構築に寄与する教員の養成を目指します。

そのために、協働性や生涯にわたる学びへの意欲と能力を育成し、人間・社会・自然等に関する幅広い教養と教育についての高度な実践力と専門性を持った教員を養成する教育・研究を行います。

### 求める資質・能力・人物像

教育学部では教員を目指す強い意志を持った人を求めています。そのために、以下のような資質・能力を持つ人の受験を期待します。

- ・ 子どもの育ちや学校教育について高い関心を持てる人
- ・ 自ら深く学ぶために課題を見出すことができる人
- ・ 課題の解決に向けた探求の努力を継続する意欲のある人
- ・ 多様な考えの人たちと協力できるコミュニケーション能力や協調性を備えた人

### 入学前に学習しておくことが期待される内容

本学部における教育は、高等学校等で修得する各科目に関して基礎的な学力を有することを前提に行われます。また、論理的な思考力、自分の考えを適切に表現できる力、コミュニケーション能力、及び各分野への関心や探究心を備えておくことを期待します。各教科・科目においては、広く以下のような内容を心がけて学習しておくことが重要です。

- ・ 国語については、現代文、古文、漢文における基礎的な知識と読解力
- ・ 地理歴史・公民については、履修した各科目における基礎的な知識と社会的思考力

- ・ 数学については、履修した各科目における基礎的な知識と数学的思考力
- ・ 理科については、履修した各科目における基礎的な知識・技能と科学的思考力
- ・ 外国語については、外国語による聞く、読む、話す、書くことに関する基礎的な知識・技能
- ・ 情報については、情報処理または問題解決に関する基礎的な知識・技能
- ・ 家庭については、家庭生活に関する基礎的な知識・技能
- ・ 音楽については、音楽に関する基礎的な知識と表現技能
- ・ 美術については、美術に関する基礎的な知識と造形能力
- ・ 保健体育については、運動と健康に関する基礎的な知識・技能

### 学校推薦型選抜Ⅰ（山梨県の小学校教員志望者推薦入試）の基本方針

この選抜は新たに学校教育課程全体で募集人員を定めて実施するもので、山梨県の小学校教員を志望する受験生を対象とします。

本選抜では、小論文と面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。

小論文では、小学校教育や児童の発達過程に関わる論題を出題し、コースでの学習の前提となる思考力・判断力・表現力を総合的に評価します。

面接では、山梨県の教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。

## 各コースの育成目標と求める能力・人物像

### ○幼小発達教育コース

#### <育成目標と求める能力・人物像>

本コースでは、人間の生涯発達全般を見通しつつ、特に就学前から小学校段階の子どもの発達と教育についての深い識見を持つだけでなく、子どもとともに、また他者とともに学びながら、今日的な教育課題の解決に挑戦していただける教員の養成を目指しています。心理学、教育学そして幼児教育学などに強い関心があり、幼稚園や小学校の教員などを目指す学生を求めています。

#### <試験区分別の入学選抜の基本方針>

##### 一般選抜（前期）

前期試験は、大学入学共通テストと個別学力試験、集団面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の記載内容を選抜資料として活用し、集団面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。

大学入学共通テストでは6教科、個別学力試験では英語を課すこととし、修学に必要な知識・思考力・表現力等を評価します。

集団面接では、コースの教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。

##### 一般選抜（後期）

後期試験は、大学入学共通テストと面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。

大学入学共通テストは3～4教科の選択とし、特に重点的に学習した教科の基礎学力を評価します。

面接では、コースの教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。

### 学校推薦型選抜Ⅰ（教科別推薦入試）

本選抜では、小論文と面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。

小論文では、幼児教育や児童・生徒の発達過程に関わる論題を出題し、コースでの学習の前提となる思考力・判断力・表現力を総合的に評価します。

面接では、コースの教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。

### ○障害児教育コース

#### <育成目標と求める能力・人物像>

本コースでは、高度な教職教養や専門教養を通して障害のある子どもを深く理解した上で、確かな実践的技能を駆使して、かつ同僚と協働して、熱意および探究心をもちながらその子どもに働きかけることのできる教員の養成を目指しています。

子どもの心のメカニズムや障害のある子どもが抱える生活上の困難さ、学校教育のあり方などに強い興味や関心があり、特別支援学校や小学校などの教員を目指す学生を求めています。

## ＜試験区分別の入学選抜の基本方針＞

### 一般選抜（前期）

前期試験は、大学入学共通テストと個別学力試験、集団面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の記載内容を選抜資料として活用し、集団面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等の評価します。

大学入学共通テストでは6教科、個別学力試験では英語を課すこととし、修学に必要な知識・思考力・表現力等の評価します。

集団面接では、自己表現力や他者理解力、およびコースの教育活動や研究活動への意欲などを総合的に評価します。

### 一般選抜（後期）

後期試験は、大学入学共通テストと面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等の評価します。

大学入学共通テストは3～4教科の選択とし、特に重点的に学習した教科の基礎学力を評価します。

面接では、自己表現力や他者理解力、およびコースの教育活動や研究活動への意欲などを総合的に評価します。

### 学校推薦型選抜Ⅰ（教科別推薦入試）

本選抜では、小論文と面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等の評価します。

小論文では、子どもの発達や学校教育などに関する事項について出題し、コースでの学習の前提となる思考力・判断力・表現力を総合的に評価します。

面接では、自己表現力や他者理解力、およびコースの教育活動や研究活動への意欲などを総合的に評価します。

## ○言語教育コース

### ＜育成目標と求める能力・人物像＞

本コースでは、人間の思考・表現・コミュニケーションの基盤である言語の教育を担う教員の養成を目指しています。

1年次では全学共通教育科目および学部共通科目等の一般的な教養を学び、2年次から「国語教育系」「英語教育系」の2つの専門領域に分かれて学びます。

「国語教育系」では、日本語、日本文学（古典・近代）、漢文学、書写・書道、国語科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の国語科や書道の教員を目指す学生を求めています。

「英語教育系」では、英語学、英米文学、英語コミュニケーション、異文化理解、英語科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の英語科の教員を目指す学生を求めています。

### ＜試験区分別の入学選抜の基本方針＞

#### 一般選抜（前期）

前期試験は、大学入学共通テストと個別学力試験、集団面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の記載内容を選抜資料として活用し、集団面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等の評価します。

大学入学共通テストでは6教科、個別学力試験では国語と英語を課すこととし、修学に必要な知識・思考力・表現力等の評価します。

集団面接では、コースの教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。

#### 一般選抜（後期）

後期試験は、大学入学共通テストと面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等の評価します。

大学入学共通テストは国語、地歴または公民、外国語の3教科を課し、基礎学力を評価します。

面接では、コースの教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。

### 学校推薦型選抜Ⅰ（教科別推薦入試）

本選抜では小論文と面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。

小論文では、言語や教育に関わる論題を出題し、コースでの学習の前提となる思考力・判断力・表現力を総合的に評価します。

面接では、コース・系の教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。なお、国語系の志望者に英語教育について質問したり、英語系の志望者に国語教育について質問したりすることはありません。

## ○生活社会教育コース

### ＜育成目標と求める能力・人物像＞

本コースでは、人間生活とその基盤となる人間社会を創造していくための豊かな教養と実践的指導力を持つ教員の養成を目指しています。

1年次では全学共通教育科目および学部共通科目等の一般的な教養を学び、2年次から「社会科教育系」「家政教育系」の2つの専門領域に分かれて学びます。

「社会科教育系」では、法律学政治学・社会学経済学・哲学倫理学・歴史学・地理学及び社会科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の社会科の教員を目指す学生を求めています。

「家政教育系」では、食物学、被服学、住居学、保育学、家庭経営学及び家庭科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の家庭科の教員を目指す学生を求めています。

### ＜試験区分別の入学選抜の基本方針＞

#### 一般選抜（前期）

前期試験は、大学入学共通テストと個別学力試験、集団面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の記載内容を選抜資料として活用し、集団面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。

大学入学共通テストでは5～6教科、個別学力試験では英語を課すこととし、修学に必要な知識・思考力・表現力等を評価します。

集団面接では、コースの教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。

#### 一般選抜（後期）

後期試験は、大学入学共通テストと面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。

大学入学共通テストは3～4教科の選択とし、特に重点的に学習した教科の基礎学力を評価します。

面接では、コースの教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性を評価します。

#### 学校推薦型選抜Ⅰ（教科別推薦入試）

本選抜では、小論文と面接を志望する系（社会・家政）ごとに課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。

小論文は、社会科教育系では私たちの社会と教育に関わる論題を、家政教育系では家庭生活と教育に関わる論題を出題し、コース・系での学習の前提となる思考力・判断力・表現力等を総合的に評価します。

面接では、コース・系の教育活動に対する理解や、教職への意欲・適性を評価します。

#### 学校推薦型選抜Ⅱ（専門・総合学科推薦入試）

家政教育系で行う本選抜では、小論文と面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を評価します。

小論文では、家庭生活と教育に関わる論題を出題し、家政教育系での学習の前提となる思考力・判断力・表現力等を総合的に評価します。

面接では、家政教育系の教育活動に対する理解や、高等学校での家庭科に関する学習、教職への意欲・適性を評価します。

## ○科学教育コース

### <育成目標と求める能力・人物像>

本コースでは、自然科学を理解するための総合的な視野と、理数系の深い専門知識を持った教員の養成を目指しています。

1年次では全学共通教育科目および学部共通科目等の一般的な教養を学び、2年次から「数学教育系」「理科教育系」「技術教育系」の3つの専門領域に分かれて学びます。

「数学教育系」では、代数学、幾何学、解析学、確率・統計、数学科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の数学の教員を目指す学生を求めています。

「理科教育系」では、物理学、化学、生物学、地学、理科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の理科の教員を目指す学生を求めています。

「技術教育系」では、木材加工学、金属加工学、機械工学、電気・電子工学、情報工学、農学、技術科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校の技術の教員を目指す学生を求めています。

### <試験区分別の入学選抜の基本方針>

#### 一般選抜（前期）

前期試験は、大学入学共通テストと個別学力試験、集団面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の記載内容を選抜資料として活用し、集団面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等进行评估します。

大学入学共通テストでは5教科、個別学力試験では数学と理科を課すこととし、修学に必要な知識・思考力・表現力等进行评估します。

集団面接では、コースの教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性进行评估します。

#### 一般選抜（後期）

後期試験は、大学入学共通テストと面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等进行评估します。

大学入学共通テストは5教科を課し、基礎学力进行评估します。

面接では、コースの教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性进行评估します。

#### 学校推薦型選抜Ⅰ（教科別推薦入試）

本選抜では、小論文と面接を志望する系（数学・理科・技術）ごとに課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等进行评估します。

小論文では、科学(数学または理科または技術)と教育に関わる論題を出題し、コース・系での学習の前提となる思考力・判断力・表現力を総合的に評価します。

面接では、コース・系の教育活動に対する理解、入学後の教育研究に対する意欲や教科(数学または理科または技術)に関する資質・能力进行评估します。

#### 学校推薦型選抜Ⅱ（専門・総合学科推薦入試）

技術教育系で行う本選抜では、口頭試問を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のため申告書」、「学校長推薦書」の記載内容を選抜資料として活用し、口頭試問の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等进行评估します。

口頭試問では、コース・技術教育系での学習の前提となる知識・技能・思考力・判断力・表現力を有しているかを判定するための学力評価（「英語」、「数学」、「理科」及び「課題研究」に関する内容を含みます。）を行うとともに、コース・系の教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性进行评估します。

## ○芸術身体教育コース

### <育成目標と求める能力・人物像>

本コースでは、人間の根源的な営みともいえる芸術活動と身体活動を通して、芸術文化や心身の発育・発達に関する内容を学びながら、専門的かつ実践的な能力を持った教員の養成を目指しています。

1年次では全学共通教育科目および学部共通科目等の一般的な教養を学び、2年次から「音楽教育系」「美術教育系」「保健体育系」の3つの専門領域に分かれて学びます。

「音楽教育系」では、声楽、器楽、作曲・編曲、音楽学、音楽科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の音楽の教員を目指す学生を求めています。

「美術教育系」では、絵画、彫刻、デザイン、工芸、美術理論・美術史、美術科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の美術の教員を目指す学生を求めています。

「保健体育系」では、体育実技（体操、陸上、球技、水泳など）、体育理論、保健、保健体育科教育学に強い関心があり、小学校の教員や中学校、高等学校の保健体育の教員を目指す学生を求めています。

#### <試験区分別の入学者選抜の基本方針>

##### 一般選抜（前期）

前期試験は、大学入学共通テストと実技検査、集団面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「活動実績報告書」（実技検査で体育実技を選択する志願者のみ）の記載内容を選抜資料として活用し、集団面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等进行评估します。

大学入学共通テストは6教科、実技検査は音楽実技、美術実技、体育実技の中から志願者が選んだいずれか一つを課し、基礎的な知識・技能进行评估します。

集団面接では、コースの教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性进行评估します。

##### 一般選抜（後期）

後期試験は、大学入学共通テストと実技検査、面接を課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「活動実績報告書」（実技検査で体育実技を選択する志願者のみ）の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等进行评估します。

大学入学共通テストは3～4教科の選択とし、特に重点的に学習した教科の基礎学力进行评估します。実技検査は、音楽実技、美術実技、体育実技の中から志願者が選んだいずれか一つを課し、基礎的な知識・技能进行评估します。

面接では、コースの教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性进行评估します。

##### 学校推薦型選抜Ⅰ（教科別推薦入試）

本選抜では、実技検査と面接を志望する系（音楽・美術・保健体育）ごとに課します。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」、「学校長推薦書」、「活動実績報告書」（実技検査で体育教育系を選択する志願者のみ）の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。志望理由については、アドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等进行评估します。

実技検査は、音楽教育系、美術教育系、体育教育系の中から志願者が選んだいずれか一つを課し、コース・系での学習の前提となる知識・技能进行评估します。

面接では、コース・系の教育活動に対する理解や、入学後の教育研究に対する意欲や適性进行评估します。

## 【医学部】

### 育成目標 【国民の健康を支える医療人の育成】

病める人の苦痛を自らの苦痛と感ずることができ、生涯にわたって医学的知識、技術の修得に努め、地域社会・国際社会の保健医療・福祉に貢献する人材及び疾患の原因解明や治療法の開発に寄与できる研究者の養成を目指します。

### 求める資質・能力・人物像

医学部では、「国民の健康を支える医療人の育成」を行うため、次のような資質と能力を持つ人材を求めています。

- ・ 単に病気やけがを治すだけでなく、一人一人に最良の医療を提供するために、努力を惜しまない人
- ・ 健康問題に興味があり、地域医療や国際医療に貢献したいと考えている人
- ・ 疾患の原因を解明し、治療法を開発したいと考えている人
- ・ 深い人間愛と広い視野を持ちコミュニケーション能力が高い人

## ○医学科

### ＜育成目標と求める能力・人物像＞

医学科では、国民の健康を支える医学・医療に将来、携わることへの強い意志と深い関心を持ち、総合的理解力、論理的思考力、問題解決能力を備え、他者とのコミュニケーション及び自己表現に優れるとともに、自己啓発のために生涯にわたって学ぶことを継続する意欲を持つ人を求めています。

### ＜入学前に学習しておくことが期待される内容＞

医学部で幅広い医学的知識を学習するために必要な基礎学力を身につけておいてください。特に、大学受験の理科学科として物理学、化学を選択した学生であっても生物学の基礎を修得していることを望みます。外国語の修得には時間がかかりますので、入学前から常に英語力の向上を目指してください。また、多彩な人との豊かな人間関係を築くこと、様々な組織の中でチームワークによる活動の経験を持つことによって、医療人に求められる高い倫理観、信頼される人間性、広い社会的視野を涵養することを心掛けてください。

### ＜試験区分別の入学選抜の基本方針＞

#### 一般選抜（後期）

後期試験では、出願資料に加え第1段階選抜合格者に面接を課します。これにより情操、創造力や適応力など人間性の観点からの選考も行います。また、調査書など各教科の学習記録により、医学を学ぶに足る基礎学力が定着しているかどうかを評価します。これらの選考により将来人間性豊かな医師または独創的な医学研究者に成長しうる学生であるかどうかを判断します。最終選抜は以上の結果に加え、大学入学共通テストの成績ならびに個別学力試験から総合的に行います。

なお第1段階選抜は大学入学共通テストの成績により実施し、募集人員の約10倍を合格者とします。ただし、志願者が募集人員の10倍を超えない場合は、第1段階選抜を実施しません。

#### 学校推薦型選抜Ⅱ

本選抜では、出願資料に加え、将来本学を含む山梨県内での医療活動に従事する意欲の有無やその理由も可否判定の材料とします。また第1段階選抜合格者に面接を課します。これにより情操、創造力や適応力など人間性の観点からの選考を行います。さらに、調査書など各教科の学習記録により、医学を学ぶに足る基礎学力が定着しているかどうかを評価します。出願資料のうち「多面的・総合的な評価のための申告書」は、アドミッションポリシーの理解度、大学で学びたいことの具体性、将来展望の明確性などを測る目的で主に面接時の資料として活用します。学校長推薦書からは学力のみならず、高校生活での主体的活動の有無や積極性など人間性の豊かさも評価します。これらの選考により将来人間性豊かな医師または独創的な医学研究者に成長しうる学生であるかどうかを総合的に判断します。

なお第1段階選抜は大学入学共通テストの成績により実施し、募集人員の約1.5倍を合格者とします。ただし、志願者が募集人員の1.5倍を超えない場合は、第1段階選抜を実施しません。

## ○看護学科

### ＜育成目標と求める能力・人物像＞

看護学科は、生命の尊厳を基本とし、看護の倫理性を身につけ、深い人間愛と広い視野を持つ看護専門職及び看護学研究者の育成を目的としています。そのため看護学科では、人間への深い関心と優れたコミュニケーション能力を備え、多様な健康問題を科学的に判断し解決できる能力を有し、保健・医療・福祉に貢献するために継続的に努力できる人材を求めています。

### <入学前に学習しておくことが期待される内容>

看護学科入学までに高等学校で学ぶ数学、理科、国語、英語、社会の内容を十分理解していることが必要です。加えて、主体的に学習する態度を身につけ、多様な世代の人々と豊かな人間関係を築き、国内外の社会情勢の変化に眼を向けてください。

### <試験区分別の入学者選抜の基本方針>

#### 一般選抜（前期）

前期試験では、出願資料に加え、受験者全員に面接を課します。これにより、情操、創造力や適応力など人間性の観点からの選考も行います。また、調査書など各教科の学習記録により、看護学を学ぶに足る基礎学力が定着しているかどうかを評価します。これらの選考により、将来人間性豊かな看護職に成長しうる学生であるかどうかを判断します。

選抜は以上の結果に加え、大学入学共通テストの成績ならびに小論文から総合的に行います。

#### 一般選抜（後期）

後期試験では、出願資料に加え、受験者全員に面接を2回課します。これにより、情操、創造力や適応力など人間性の観点からの選考も行います。また、調査書など各教科の学習記録により、看護学を学ぶに足る基礎学力が定着しているかどうかを評価します。出願資料のうち「多面的・総合的な評価のための申告書」は、アドミッションポリシーの理解度、大学で学びたいことの実体性、将来展望の明確性などを測る目的で、主に面接時の資料として活用します。これらの選考により、将来人間性豊かな看護職に成長しうる学生であるかどうかを判断します。

選抜は以上の結果に加え、大学入学共通テストの成績から総合的に行います。

#### 学校推薦型選抜Ⅰ

本選抜では、出願資料に加え、受験者全員に面接を課します。これにより、情操、創造力や適応力など人間性の観点からの選考を行います。また、調査書など各教科の学習記録により、看護学を学ぶに足る基礎学力が定着しているかどうかを評価します。出願資料のうち「多面的・総合的な評価のための申告書」は、アドミッションポリシーの理解度、大学で学びたいことの実体性、将来展望の明確性などを測る目的で主に面接時の資料として活用します。学校長推薦書からは学力のみならず、高校生活での主体的活動の有無や積極性など人間性の豊かさも評価します。これらの選抜により将来人間性豊かな看護職に成長しうる学生であるかどうかを総合的に判断します。

選抜は以上の結果に、小論文によるバランスのとれた判断力、論理的構想力、表現力等の評価を加え総合的に行います。

## 【工学部】

### 育成目標 【未来世代を思いやるエンジニアリング教育】

本学の入学者受け入れ方針に加え、基礎的・専門的学力、論理的な表現力やコミュニケーション能力を修得するとともに、工学技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者が社会に負っている責任を理解し、科学的知見と技術を総合して社会的課題を解決する能力、すなわちエンジニアリングデザイン能力を身につけたグローバルに活躍できる人材を養成します。

### 求める資質・能力・人物像

工学部では、工学系技術者となって社会に貢献しようとする意欲をもつ、次のような人を求めています。

- ・ 4年間学び抜くことができる学力と強い意志を有していること
- ・ 各学科で学ぶ内容に強い興味と適性を有していること
- ・ 学科別に提示する数学、理科の基礎力を有していること
- ・ 国語、地歴公民など高校で履修する幅広い科目により人間や社会に関する基礎的な知識や興味を有すること
- ・ 書かれた文章を理解し、利用できること。また、学んだことや自らの考えを論理的な文章で表現できること
- ・ 国際的なコミュニケーション能力の基本として基礎的な英語の語学力を有し、入学後も積極的に学ぶ意欲を有すること
- ・ 実験や観察の計画や実行に積極的に取り組んだ経験があること

## ○機械工学科

### <育成目標と求める能力・人物像>

人間と機械との結びつきを理解し、自然と社会の反映さらに人類の幸福に貢献できる技術者を育成します。具体的には数学・物理などの数理知識を自動車・航空・宇宙産業や医工学分野さらに動力エネルギー分野などへと応用する技術を習得します。

そのために次のような人材を求めます。

- ・ 数学・理科・英語の基礎学力があり、なおかつ学習意欲がある人。理科の中では特に物理を重視します。
- ・ 実験などを通して身の周りの自然現象の観察に興味のある人
- ・ 人と機械とが関わるものづくりに興味のある人
- ・ 独創的な発想で機械の技術革新をしようとする人

### <入学前に学習しておくことが期待される内容>

高等学校で履修した科目、とりわけ数学、物理、英語をしっかりと理解していることが必要です。機械工学は物理を基礎として、また数学を駆使して構築されている工学分野です。数学、物理の本質を理解するとともに、また国際的に活躍できる人材となるために不可欠な英語の素養も身につけてくることを期待しています。

### <試験区分別の入学者選抜の基本方針>

#### 一般選抜（前期）

大学入学共通テストと個別学力検査を課す学力重視の入試を行います。

調査書では、基礎学力の定着を学習の記録により評価し、アドミッションポリシーの観点からの評価や志望する学科への適性を、学習の記録と指導上参考となる諸事項により判定します。大学入学共通テストでは5教科7科目、個別学力検査では数学と理科を課すこととします。

#### 一般選抜（後期）

調査書と多面的・総合的な評価のための申告書の提出に加え、面接を課すことで多様な資質能力を有した学生を求める入試を行います。

調査書では、基礎学力の定着を学習の記録により評価し、アドミッションポリシーの観点からの評価や志望する学科への適性を、学習の記録と指導上参考となる諸事項により判定します。多面的・総合的な評価のための申告書は、アドミッションポリシーを理解し大学で学びたいことや将来への展望が明確であるか等を評価し、面接の資料としても活用します。学力評価として、大学入学共通テスト（5教科7科目）のみを課すこととします。

#### 総合型選抜Ⅱ

提出書類と面接により第一段階選抜を実施し、最終選抜には大学入学共通テストを用います。

調査書については、各教科・科目等の学習の記録の中で、特に数学・理科・英語の基礎学力の定着の度合いを評価し、指導上参考となる諸事項に記載された学科への関連の内容を参考とします。多面的・総合的な評価のための申告書はアドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや将来への展望が明確であるか等を評価します。これらの提出書類は面接用事前レポートと同様に面接の際の基礎資料として用います。学力評価として、大学入学共通テスト（5教科7科目）を課すこととします。

## ○電気電子工学科

### <育成目標と求める能力・人物像>

電気電子工学は材料・素子から、素子を組み合わせた回路、複数の回路を結合した装置、装置やソフトウェアを統合したシステムに至るまで、様々な対象を取り扱う幅広い学問分野であり、その成果はほぼ全ての社会基盤に必要とされています。本学科は、電気電子工学を駆使して社会で活躍する技術者、研究者を育成することをミッションとしており、次のような人材を求めます。

- ・ 電気電子工学に強い興味と関心を持ち、将来は、太陽光発電を含む発送電システム、スマートフォンなどの ICT 機器・通信システム、医療機器、自動運転車や電気自動車などの交通システム、鉄道などの社会インフラ、またこれら全てを支える大規模集積回路の研究、設計、整備、運用など、様々な分野と立場で活躍する意欲をもつ人
- ・ 数学、理科、英語の基礎学力があり、さらに深く学ぶ意欲がある人。理科のなかでは特に物理を重視します。

### <入学前に学習しておくことが期待される内容>

高等学校で履修した数学、理科、英語、国語、地歴公民で学習した内容がしっかり理解できていることを望んでいます。特に、物理と数学の本質を理解するとともに、電気、磁気、光、電子に関する物理現象に興味を持って勉強してきてください。

### <試験区分別の入学選抜の基本方針>

#### 一般選抜（前期）

大学入学共通テストと個別学力検査を課す学力重視の入試を行います。

調査書では、基礎学力の定着を学習の記録により評価し、アドミッションポリシーの観点からの評価や志望する学科への適性を、学習の記録と指導上参考となる諸事項により判定します。大学入学共通テストでは5教科7科目、個別学力検査では数学と理科を課すこととします。

#### 一般選抜（後期）

調査書と多面的・総合的な評価のための申告書の提出に加え、面接を課すことで多様な資質能力を有した学生を求める入試を行います。

調査書では、基礎学力の定着を学習の記録により評価し、アドミッションポリシーの観点からの評価や志望する学科への適性を、学習の記録と指導上参考となる諸事項により判定します。多面的・総合的な評価のための申告書は、アドミッションポリシーを理解し大学で学びたいことや将来への展望が明確であるか等の評価し、面接の資料としても活用します。学力評価として、大学入学共通テスト（5教科7科目）のみを課すこととします。

#### 総合型選抜Ⅱ

提出書類と面接、小論文により第一段階選抜を実施し、最終選抜には大学入学共通テストを用います。

調査書については、各教科・科目等の学習の記録の中で、特に数学・理科（特に物理）・英語の基礎学力の定着の度合いを評価し、指導上参考となる諸事項に記載された学科への関連の内容を参考とします。多面的・総合的な評価のための申告書はアドミッションポリシーを理解し、大学で学びたいことや将来への展望が明確であるか等の評価し、面接の際の資料としても用います。小論文と面接では、数学と物理の基礎学力、論理的な説明力を評価します。学力評価として、大学入学共通テスト（4教科6科目）を課すこととします。

## ○コンピュータ理工学科

### <育成目標と求める能力・人物像>

コンピュータ理工学を学んだ技術者は、スマートフォンなどの情報機器やネットワークシステム、ソフトウェアの開発・運用管理、情報通信系のサービス、自動車や電機などの製造業などで活躍しています。また、人工知能技術を駆使したデータ解析の技術者は、いまや情報分野に限らず幅広い分野で必要不可欠な人材です。本学科は、そのような幅広い分野で活躍できる技術者、研究者を育成します。そのために、次のような人材を求めます。

- ・ 情報科学技術や大規模ソフトウェアの設計開発、ものづくりに対する強い好奇心をもち、将来、専門知識・技術を備えた情報処理技術者・研究者になりグローバルに活躍することを目指している人
- ・ 数学、理科、国語及び英語の基礎的な学力を有する人

### <入学前に学習しておくことが期待される内容>

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、地歴公民の内容を十分に理解していることが必要です。コンピュータ理工学は、情報化社会の基盤と密接に関連しています。したがって、情報システムや機器の設計・解析手法を学ぶための理工系の素養の他に、国内外の文化や慣習、社会情勢などに対する知識や理解とともに日本語や英語によるコミュニケーション能力を備えていることを期待しています。

### <試験区分別の入学選抜の基本方針>

#### 一般選抜（前期）

大学入学共通テストと個別学力検査を課す学力重視の入試を行います。

調査書では、基礎学力の定着を学習の記録により評価し、アドミッションポリシーの観点からの評価や志望する学科への適性を、学習の記録と指導上参考となる諸事項により判定します。大学入学共通テストでは5教科7科目、個別学力検査では数学と理科を課すこととします。

#### 一般選抜（後期）

調査書と多面的・総合的な評価のための申告書の提出に加え、面接を課すことで多様な資質能力を有した学生を求める入試を行います。

調査書では、基礎学力の定着を学習の記録により評価し、アドミッションポリシーの観点からの評価や志望する学科への適性を、学習の記録と指導上参考となる諸事項により判定します。多面的・総合的な評価のための申告書は、アドミッションポリシーを理解し大学で学びたいことや将来への展望が明確であるか等の評価し、面接の資料としても活用します。学力評価として、大学入学共通テスト（5教科7科目）のみを課すこととします。

#### 総合型選抜Ⅰ

調査書では、基礎的学力を備えているかを判定するとともに、課外活動や取得した資格等により向上心や主体性などを評価します。多面的・総合的な評価のための申告書では、本学のアドミッションポリシーへの理解、向上心や主体性、協働性などを重視するとともに、本学科で学ぶ意欲や、将来への展望が明確であるかを確認します。志願者評価書では、本学アドミッションポリシーに示される能力及び人物としての特性を備えているかを総合的に判断します。調査書や多面的・総合的な評価のための申告書は面接の際の資料としても用います。小論文には数学、理科（物理）、外国語（英語）の基礎学力を問う設問を含み、学力評価を行います。

#### 総合型選抜Ⅱ

提出書類により第一段階選抜を実施し、最終選抜には大学入学共通テストを用います。

調査書については、基礎的学力を備えているかを判定するとともに、課外活動や取得した資格等により向上心や主体性などを評価します。多面的・総合的な評価のための申告書では、本学のアドミッションポリシーへの理解、向上心や主体性、協働性などを重視するとともに、本学科で学ぶ意欲や、将来への展望が明確であるかを確認します。学力評価として、大学入学共通テスト（教科・科目数は型により異なる）を課すこととします。

### ○情報メカトロニクス工学科

#### ＜育成目標と求める能力・人物像＞

産業・民生用ロボットなど近年の電子機械製品は機械・電気・情報の3分野の技術の融合体であり、いずれの技術が欠けても成り立ちません。本学科では、これら3分野にまたがる知識や技術を利用して、社会で求められている電子機械製品の開発などの実践的な課題を解決できる技術者を育成します。そのために、次のような人材を求めます。

- ・ コンピュータで制御された電子機械製品の研究や開発をはじめとした幅広い分野に興味を持ち、社会で求められている技術や製品の実現に意欲を持っている人。
- ・ 数学、理科、英語の基礎学力があり、なおかつ学習意欲がある人。理科のなかでは特に物理を重視します。

#### ＜入学前に学習しておくことが期待される内容＞

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、地歴公民の内容を十分理解していることが必要です。また情報メカトロニクス工学科は、電気・情報・機械の幅広い分野に関連しています。従って、分野を問わず最先端技術に興味を持つと共に、その基礎となる物理、数学などの本質を理解するようにしてください。

#### ＜試験区分別の入学者選抜の基本方針＞

##### 一般選抜（前期）

大学入学共通テストと個別学力検査を課す学力重視の入試を行います。

調査書では、基礎学力の定着を学習の記録により評価し、アドミッションポリシーの観点からの評価や志望する学科への適性を、学習の記録と指導上参考となる諸事項により判定します。大学入学共通テストでは5教科7科目、個別学力検査では数学と理科を課すこととします。

##### 一般選抜（後期）

調査書と多面的・総合的な評価のための申告書の提出に加え、面接を課すことで多様な資質能力を有した学生を求める入試を行います。

調査書では、基礎学力の定着を学習の記録により評価し、アドミッションポリシーの観点からの評価や志望する学科への適性を、学習の記録と指導上参考となる諸事項により判定します。多面的・総合的な評価のための申告書は、アドミッションポリシーを理解し大学で学びたいことや将来への展望が明確であるか等の評価し、面接の資料としても活用します。学力評価として、大学入学共通テスト（5教科7科目）のみを課すこととします。

##### 総合型選抜Ⅱ

提出書類と面接、小論文により第一段階選抜を実施し、最終選抜には大学入学共通テストを用います。

調査書については、各教科・科目等の学習の記録の中で、主に数学・理科・英語の基礎学力の定着の度合いを評価し、指導上参考となる諸事項に記載された学科への関連の内容を参考とします。多面的・総合的な評価のための申告書については、アドミッションポリシーで示した育成目標に必要な能力・資質を判断し、志願者評価書における学力の3要素も加味して総合的に判断します。学力評価として、大学入学共通テスト（5教科7科目）を課すこととします。

## ○土木環境工学科

### <育成目標と求める能力・人物像>

土木環境工学系の技術者は、国土交通省をはじめとする国家公務員、都道府県、市町村の地方公務員、総合建設業の技術者、設計コンサルタントとして、社会資本の整備や維持管理に携わっています。また、同技術者には道路、運輸等の公共企業、電力、ガス、通信等の公益企業、環境衛生エンジニアリング、住宅建設と、幅広い活躍の場があります。本学科では、このような分野で活躍する「土木工学と環境工学に関する幅広い基礎知識・技術を併せ持ち、持続可能な社会の構築に貢献できる技術者」を育成するため、以下のような人材を求めています。

- ・ 自然環境と調和した社会基盤整備の知識・技術を修得し、災害に強く、環境に配慮した安全で快適な地域づくり・まちづくりを通じて、社会に貢献したいという意思のある人
- ・ 防災・減災、都市環境、社会資本の維持管理など、土木環境工学の最先端について学びたいという意思のある人

### <入学前に学習しておくことが期待される内容>

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、地歴公民の内容を十分に理解していることが必要です。土木環境工学は自然や社会との接点が多い分野です。解析や設計に直接通じる数学や物理の学力だけでなく理科全般の素養と、自分の言葉で社会とコミュニケーションするために、国語、英語、地歴公民の素養を身につけていることを期待しています。

### <試験区分別の入学選抜の基本方針>

#### 一般選抜（前期）

大学入学共通テストと個別学力検査を課す学力重視の入試を行います。調査書では、基礎学力の定着を学習の記録により評価し、アドミッションポリシーの観点からの評価や志望する学科への適性を、学習の記録と指導上参考となる諸事項により判定します。大学入学共通テストでは5教科7科目、個別学力検査では数学と理科を課すこととします。

#### 一般選抜（後期）

調査書と多面的・総合的な評価のための申告書の提出に加え、面接を課すことで多様な資質能力を有した学生を求める入試を行います。

調査書では、基礎学力の定着を学習の記録により評価し、アドミッションポリシーの観点からの評価や志望する学科への適性を、学習の記録と指導上参考となる諸事項により判定します。多面的・総合的な評価のための申告書は、アドミッションポリシーを理解し大学で学びたいことや将来への展望が明確であるか等を評価し、面接の資料としても活用します。学力評価として、大学入学共通テスト（5教科7科目）のみを課すこととします。

#### 総合型選抜Ⅱ

提出書類と面接、小論文により第一段階選抜を実施し、最終選抜には大学入学共通テストを用います。

調査書については、各教科・科目等の学習の記録において、バランスの良い基礎学力の定着の度合いを評価し、指導上参考となる諸事項において、学科への関連の内容の記載を参考とします。多面的・総合的な評価のための申告書はアドミッションポリシーを理解し、学科で学びたいことや、将来への展望が明確であるか等を段階別に評価し、志願者評価書はこれを補完するものとして活用します。これら提出書類は面接の資料としても用います。小論文は講義を受講し、その内容を要約する方式で実施します。学力評価として、大学入学共通テスト（5教科7科目）を課すこととします。

## ○応用化学科

### <育成目標と求める能力・人物像>

応用化学を学修した卒業生は、材料・化学メーカー、エネルギー関連、電気・電子、機械、自動車、製薬、食品、化粧品、装置製造産業、環境分析など様々な分野における新規材料開発および計測などに携わることができます。本学科では、化学の専門知識と実験技術を修得し、新素材・エネルギー・環境等の課題を解決できる技術者・研究者を育成します。そのために、次のような人材を求めます。

- ・ 化学に対する強い好奇心をもち、新素材・高機能物質の開発やエネルギー・環境等の問題解決に意欲のある人
- ・ 化学、物理、数学、英語の基礎的な学力を有する人

### <入学前に学習しておくことが期待される内容>

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、地歴公民の内容を十分に理解しておくことが必要です。化学はもちろんのこと、数学や物理の基礎学力は実験結果の解析に必要となります。また、外国の専門誌

を読んだり、レポートを作成したりするためには、英語や国語の力が必要です。化学だけでなく化学以外の科目やそれらと化学との境界領域にも興味をもって勉強しておくことを期待します。

#### <試験区分別の入学選抜の基本方針>

##### 一般選抜（前期）

大学入学共通テストと個別学力検査を課す学力重視の入試を行います。

調査書では、基礎学力の定着を学習の記録により評価し、アドミッションポリシーの観点からの評価や志望する学科への適性を、学習の記録と指導上参考となる諸事項により判定します。大学入学共通テストでは5教科7科目、個別学力検査では数学と理科を課すこととします。

##### 一般選抜（後期）

調査書と多面的・総合的な評価のための申告書の提出に加え、面接を課すことで多様な資質能力を有した学生を求める入試を行います。

調査書では、基礎学力の定着を学習の記録により評価し、アドミッションポリシーの観点からの評価や志望する学科への適性を、学習の記録と指導上参考となる諸事項により判定します。多面的・総合的な評価のための申告書は、アドミッションポリシーを理解し大学で学びたいことや将来への展望が明確であるか等の評価し、面接の資料としても活用します。学力評価として、大学入学共通テスト（5教科7科目）のみを課すこととします。

##### 総合型選抜Ⅰ

調査書では、本学科における修学が可能な基礎学力を備えるかを評価すると同時に面接の資料とします。多面的・総合的な評価のための申告書では、化学に対する強い興味と特に化学を専攻する希望を持つかを評価します。学力評価として、化学に関する口頭試問あるいは化学グランプリの成績、ならびに化学実験に関する試問により、化学に関する基礎知識ならびに化学実験に関する知識・技能や興味を評価します。

##### 総合型選抜Ⅱ

調査書と面接により第一段階選抜を実施し、最終選抜には大学入学共通テストと多目的・総合的な評価のための申告書を用います。

調査書では、本学科における修学が可能な基礎学力を備えるかを評価すると同時に面接の資料とします。多目的・総合的な評価のための申告書では、化学に関する知識と技術を生かして社会に貢献しようとする意欲を持ち、本学科の教育課程を履修できる学習習慣を備えるかを評価します。学力評価として大学入学共通テスト（3教科5科目のうち「化学」ほか2科目）を課すこととします。

#### ○先端材料理工学科

##### <育成目標と求める能力・人物像>

材料科学は、原子・分子レベルの操作で新材料を創り、新たな機能を生み出すことを目的とした学問であり、科学技術、社会が変化しても持続的な就業能力を持った人材を育成します。そのために次のような人材を求めます。

- ・ 物理と化学の知識を合わせ持ち、原子・分子レベルの操作で先端材料を作り、新機能を生み出すことによって新しい社会を築いていこうとする意欲ある人
- ・ 数学・理科に関する諸々の話題、疑問点を追究する強い好奇心を持ち、それを生かした社会貢献に意欲的な人

##### <入学前に学習しておくことが期待される内容>

高等学校で学ぶ数学そして物理と化学を理解していること、それ以前にそれらが好きであることが重要です。研究論文や技術報告書を読む、あるいは自ら執筆するためには英語や国語の力、特に論理を組み立てていく能力も必要です。入学時にこれらをすべて備えていることを必ずしも要求しませんが、将来の自分のために投資しておくという基本的学習習慣だけは必ず身につけておくことを期待します。

#### <試験区分別の入学選抜の基本方針>

##### 一般選抜（前期）

大学入学共通テストと個別学力検査を課す学力重視の入試を行います。

調査書では、基礎学力の定着を学習の記録により評価し、アドミッションポリシーの観点からの評価や志望する学科への適性を、学習の記録と指導上参考となる諸事項により判定します。大学入学共通テストでは5教科7科目、個別学力検査では数学と理科を課すこととします。

##### 一般選抜（後期）

調査書と多面的・総合的な評価のための申告書の提出に加え、面接を課すことで多様な資質能力を有した学生を求める入試を行います。

調査書では、基礎学力の定着を学習の記録により評価し、アドミッションポリシーの観点からの評価や志望する学科への適性を、学習の記録と指導上参考となる諸事項により判定します。多面的・総合的な評価のための申告書は、アドミッションポリシーを理解し大学で学びたいことや将来への展望が明確であるか等の評価し、面接の資料としても活用します。学力評価として、大学入学共通テスト（5教科7科目）のみを課すこととします。

## 総合型選抜Ⅱ

提出書類と面接、小論文により第一段階選抜を実施し、最終選抜には大学入学共通テストを用います。

調査書では、高校での学習状況と面接等の結果の整合性を確認します。多面的・総合的な評価のための申告書では、学習意欲等の学力試験によって測ることができない能力や態度を評価し、志願評価書でその内容との整合性および本学進学に対する意志を確認します。学力評価として大学入学共通テスト（5教科7科目）を課すことに加え、数学・物理・化学・英語に関する課題が与えられ小論文と面接発表資料を作成し、プレゼンテーションと質疑応答を行うことで基礎学力を評価します。

## 【生命環境学部】

### 育成目標 【自然と社会の共生科学の創生】

本学の入学受け入れ方針に加え、自然と社会の共生科学に基づき、広範な知識を統合し、問題を発見し解決する能力を身につけ、持続可能な地域社会の繁栄に貢献できる人材の育成を目指します。

文理融合の視点から生命・食・環境・経営などの諸課題を多角的に分析し、その解決に向けて実践的に取り組むことのできる教育・研究を行います。

### 求める資質・能力・人物像

生命環境学部では、「自然と社会の共生科学の創生」を目指し、次のような資質と能力を持つ人材を求めています。

- ・ 高等学校で履修する各教科・科目をまんべんなく学修し、基礎知識を身につけていること
- ・ 自然環境の成り立ちや生物の多様性などを理解するために、理科（物理、化学、生物、地学）や数学、情報など、自然科学や数理科学の基礎学力を身につけていること
- ・ 社会の特質や人間としての在り方などについて理解するために、社会科学の基礎となる社会（地理、歴史、公民）の基礎学力を身につけていること
- ・ 文章を読解したり自らの考えを論理的な文章で表現したりするために、国語の基礎学力を身につけていること
- ・ グローバルな問題に取り組むために、必要な基礎的な外国語の能力を有すること
- ・ 実験やフィールド調査を自主的かつ継続的に取り組むことのできる行動力を有すること
- ・ 教員や先輩、友人、留学生等と積極的に対話できるコミュニケーション力を有すること

## ○生命工学科

### <育成目標と求める能力・人物像>

バイオインフォマティクス、ナノバイオテクノロジー、ゲノミクスをはじめとする先端バイオを学ぶことにより、食品生産、健康増進、再生医学、バイオエネルギー、環境保全などに関する新しい技術を創出する能力を身につけ、各分野の技術者や研究者を養成することを目指しています。そのために、次のような人材を求めます。

- ・ バイオサイエンスを理解し、バイオテクノロジーを身につけるために、生物を中心とした学問領域に加え、多様な物質を扱う化学に関する知識を有していること
- ・ 論理的思考力を養うため、数学の素養を身につけていること
- ・ 入学試験で課している科目について、十分な学力を有していること

### <入学前に学習しておくことが期待される内容>

バイオサイエンスを理解し、バイオテクノロジーを身につけるために、生物を中心とした学問領域に加え、多様な物質を扱う化学に関する知識が必要です。論理的思考力を養うため、数学の素養も望んでいます。

### <試験区分別の入学選抜の基本方針>

#### 一般選抜（前期）

大学入学共通テストと個別学力検査（小論文）において学力重視の入試を行います。

大学入学共通テストでは5教科7科目を課し、小論文では記述・論述の問題によって論理的思考力や判断力を判定します。

アドミッションポリシーの観点から学科との適性を総合的に評価するために、「調査書」の記載内容を選抜資料として活用します。

#### 一般選抜（後期）

大学入学共通テストと面接において多様な資質を重視した入試を行います。

大学入学共通テストでは5教科7科目を課し、教科・科目に係る基礎学力を評価します。

面接では、「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」をアドミッションポリシーへの適性評価に活用します。さらに、入学後の教育研究に対する意欲や適性を判断するために、口頭試問も含めて評価を行います。

#### 総合型選抜Ⅱ

提出書類をもとに面接を実施し、最終的には大学入学共通テストで5教科7科目において基礎学力を評価します。

「調査書」では、各教科・科目等の学習記録において、基礎学力の定着度合いを評価します。

「多面的・総合的な評価のための申告書」及び「志願者評価書」では、アドミッションポリシーに適合した学力の3要素を身につけているかを総合的に評価します。

面接では、アドミッションポリシーへの適性と入学後の教育研究に対する意欲や適性を判断するために、口頭試問も含めて評価を行います。

## ○地域食物科学科

### <育成目標と求める能力・人物像>

果樹や野菜などの農作物の栽培、食品やワインの製造、及びその栄養・有用成分の機能と利用などに関する食物科学や農学の知識・技術を習得し、食料問題の解決に生かせる人材を養成することを目指しています。そのために、次のような人材を求めます。

- ・ 本学科の教育研究の内容を理解するための基礎となる授業科目（生物、化学、物理学、数学、等）を十分に理解できていること
- ・ 自らの考えを論理的に伝える基礎として、高等学校で学ぶ国語・英語を身につけていること
- ・ 食料生産・利用あるいはワイン製造に関する問題解決に向けて、主体的に粘り強く自己研鑽につとめる熱意と実行力があること
- ・ 本学科で学んだことを活かして地域社会で活躍したいという目的意識と向上心があること

### <入学前に学習しておくことが期待される内容>

食物生産あるいはワイン製造に関する課題を解決するためには、原料の生産・加工・利用等を含む総合的な知識が必要です。したがって、高等学校で学ぶ化学・生物などの理科科目を十分に理解できていることを望んでいます。また、自らの考えを論理的に伝える基礎として、高等学校で学ぶ国語・英語を身につけておくことを期待しています。

### <試験区分別の入学選抜の基本方針>

#### 一般選抜（前期）

大学入学共通テストと個別学力検査（小論文）において学力重視の入試を行います。

大学入学共通テストでは5教科7科目を課し、小論文では記述・論述の問題によって論理的思考力や判断力を判定します。

アドミッションポリシーの観点から学科との適性を総合的に評価するために、「調査書」の記載内容を選抜資料として活用します。

#### 一般選抜（後期）

大学入学共通テストと面接において多様な資質を重視した入試を行います。

大学入学共通テストでは5教科7科目を課し、教科・科目に係る基礎学力を評価します。

面接では、「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」をアドミッションポリシーへの適性評価に活用します。さらに、入学後の教育研究に対する意欲や適性を判断するために、口頭試問も含めて評価を行います。

#### 総合型選抜Ⅱ

提出書類をもとに面接を実施し、最終的には大学入学共通テストで5教科7科目において基礎学力を評価します。

「調査書」では、各教科・科目等の学習記録において、基礎学力の定着度合いを評価します。

「多面的・総合的な評価のための申告書」及び「志願者評価書」では、アドミッションポリシーに適合した学力の3要素を身につけているかを総合的に評価します。

面接では、アドミッションポリシーへの適性と入学後の教育研究に対する意欲や適性を判断するために、口頭試問も含めて評価を行います。

## ○環境科学科

### <育成目標と求める能力・人物像>

生物資源の持続的な生産を支える土壌、水、大気や生態系に関する専門知識を学ぶことによって、自然環境と共生する持続可能な社会の創生に貢献できる人材を養成します。そのために、次のような人材を求めます。

- ・ 自然環境の成り立ちを理解するために必要な理科（物理、化学、生物、地学）の基礎学力を備えていること
- ・ 論理的な思考を行う上で必要な数学の基礎学力を備えていること
- ・ 他者とコミュニケーションや自身の考えを的確に伝えるために必要な国語や外国語の素養を有していること
- ・ 環境問題を解決するために不可欠な社会系科目（地理歴史や公民）に対する理解があること
- ・ 自然と人間社会との共生に強い関心があり、本学科で学んだことを活かして持続可能な社会の創生に貢献したいという意欲があること

### <入学前に学習しておくことが期待される内容>

高等学校で履修した数学や情報、物理、化学、生物、地学といった理系科目に加え、自分の言葉で他者とコミュニケーションをとるための国語や外国語の素養が身につけていることを望んでいます。さらに、地理歴史、公民といった社会系科目に対する理解と同時に、環境に対する関心や興味を持っていることを期待しています。

### <試験区分別の入学選抜の基本方針>

#### 一般選抜（前期）

大学入学共通テストと個別学力検査（小論文）において学力重視の入試を行います。

大学入学共通テストでは5教科7科目を課し、小論文では記述・論述の問題によって論理的思考力や判断力を判定します。

アドミッションポリシーの観点から学科との適性を総合的に評価するために、「調査書」の記載内容を選抜資料として活用します。

#### 一般選抜（後期）

大学入学共通テストと面接において多様な資質を重視した入試を行います。

大学入学共通テストでは5教科7科目を課し、教科・科目に係る基礎学力を評価します。

面接では、「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」をアドミッションポリシーへの適性評価に活用します。さらに、入学後の教育研究に対する意欲や適性を判断するために、口頭試問も含めて評価を行います。

#### 総合型選抜Ⅱ

提出書類をもとに面接を実施し、最終的には大学入学共通テストで5教科7科目において基礎学力を評価します。

「調査書」では、各教科・科目等の学習記録において、基礎学力の定着度合いを評価します。

「多面的・総合的な評価のための申告書」及び「志願者評価書」では、アドミッションポリシーに適合した学力の3要素を身につけているかを総合的に評価します。

面接では、アドミッションポリシーへの適性と入学後の教育研究に対する意欲や適性を判断するために、口頭試問も含めて評価を行います。

### ○地域社会システム学科

#### <育成目標と求める能力・人物像>

経済・経営・行政に強い関心を持ち、経済・経営・政策に関する社会科学および数学的な見方や考え方を学び、国際的視野をもって、観光や食をはじめとする産業創造等を通し地域社会の持続的な発展に貢献できる人材を養成します。そのために、次のような人材を求めます。

- ・ 普段から新聞や書籍を読み、政治・経済の動向や現代社会の問題に強い関心を持っている人
- ・ さまざまな学問分野の成果を自ら取り込む真摯な姿勢とこれをさまざまな場面で生かす能力がある人
- ・ 科学的知見に基づき地域社会の繁栄の実現に貢献できる人

#### <入学前に学習しておくことが期待される内容>

日常的に新聞や書籍を読み、政治・経済の動向や現代社会の問題へ関心を寄せる習慣を身につけておくことを望んでいます。

#### <試験区分別の入学者選抜の基本方針>

##### 一般選抜（前期）

大学入学共通テストと個別学力検査（小論文）を課します。

大学入学共通テストでは5教科6科目又は4教科6科目を課し、教科・科目に係る基礎学力を評価します。

個別学力試験（小論文）では総合的な設問により、知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。

「調査書」の記載内容を選抜資料として活用し、アドミッションポリシーの観点から学科との適性を総合的に評価します。

##### 一般選抜（後期）

大学入学共通テストと面接を課します。

大学入学共通テストでは5教科6科目又は4教科6科目を課し、教科・科目に係る基礎学力を評価します。

面接では、アドミッションポリシーの理解度、入学後の教育研究に対する意欲や適性等を評価します（口頭試問を課す場合があります）。

「調査書」と「多面的・総合的な評価のための申告書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。

##### 総合型選抜Ⅱ

大学入学共通テストと面接を課します。

大学入学共通テストでは5教科6科目又は4教科6科目を課し、教科・科目に係る基礎学力を評価します。

面接では、アドミッションポリシーに適合した学力の3要素を身につけているか、アドミッションポリシーの理解度、入学後の教育研究に対する意欲や適性等を総合的に評価します（口頭試問を課す場合があります）。

「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」、「志願者評価書」の記載内容を選抜資料として活用し、面接の際の基礎資料として用います。

I ≪令和3(2021)年度入試≫入学定員（募集人員）予定

令和3(2021)年度入学者選抜			一般選抜		学校推薦型選抜・総合型選抜							総募集人員			
学部	課程・学科・コース名	入学定員	前期	後期	① 総合 型 I	② 総合 型 II	③ 推薦 型 I	④ 推薦 型 I (A)	⑤ 推薦 型 I (B)	⑥ 推薦 型 I (C)	⑦ 推薦 型 II				
教育学部	学校教育課程	125													
	幼小発達教育コース		12	4				2					18		
	障害児教育コース		10	4					4					18	
	言語教育コース		国語教育系	7	2					2					13
			英語教育系							2					
	生活社会教育コース		社会科教育系	11	3					2					20
			家政教育系							3	1	12			
	科学教育コース		数学教育系	14	4					2					26
理科教育系								2							
芸術身体教育コース	技術教育系	6	4					3	1				18		
	音楽教育系							2							
	美術教育系 保健体育系							2 4							
計		125	60	21	0	0	0	30	2	12	0		125		
医学科	医学科	105		90								15人以内	105		
	看護学科	60	30	5			25						60		
	計	165	30	95	0	0	25	0	0	0		15人以内	165		
工学部	機械工学科	55	33	5				17					55		
	電気電子工学科	55	33	5				17					55		
	コンピュータ理工学科	55	30	5	8	12							55		
	情報メカトロニクス工学科	55	33	5				17					55		
	土木環境工学科	55	33	5				17					55		
	応用化学科	55	26	5	12	12							55		
	先端材料理工学科	35	19	5				11					35		
	計	365	207	35	20	103	0	0	0	0	0		365		
生命環境学部	生命工学科	35	27	5				3					35		
	地域食物科学科	ワイン科学特別 コース (13)	37	30	5				2				37		
			(13)	(13)	0			0							
	環境科学科	30	22	5				3					30		
	地域社会システム学科	観光政策科学特別 コース (13)	48	40	5				3					48	
(13)			(13)	0			0								
計	150	119	20	0	11	0	0	0	0	0	0	150			
合 計		805	416	171	20	114	25	30	2	12		15人以内	805		

- ・各選抜方法による合格者数が募集人員から増減することがあります。最終的に入学定員を確保する方向で調整します。
- ・教育学部の推薦型 I には、(A) 教科別推薦、(B) 専門・総合学科推薦、(C) 山梨県の小学校教員志望者推薦の3つに区分して実施します。
- ・医学科の入学定員及び募集人員は、変更されることがあります。
- ・生命環境学部の特別コースの( )内の人員は、ワイン科学特別コースは地域食物科学科、観光政策科学特別コースは地域社会システム学科の人員に含まれます。

## II 令和3（2021）年度入学者選抜方法の概要

### 1. 多面的・総合的な評価の実現に向けた基本方針について

本学では「学力の3要素」を多面的・総合的に評価するために、アドミッションポリシーを見直し、その具体化を図るために、次のような改革を実施します。

#### ○アドミッションポリシーに基づき「学力の3要素」を多面的・総合的に評価する入学者選抜への改善

「学力の3要素」を多面的・総合的に評価するために、表1のように3つの評価軸を設定し、入試制度設計を行っています。その上で、表2のような多様な評価方法を用いて総合的な評価により選抜を行います。

表1 学力の3要素と多面的評価の関係（概要を示したもので、各学部等により違いがあります）

分類	内 容 (AP:アドミッションポリシー)	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性
A	APに示した求める能力・人物像等を規準として評価します。	●		●
B	APに示した「入学前に学習しておく内容」の定着や、修学に必要な学力などを大学入学共通テストや独自の個別試験により評価します。	●	●	
C	APに示した育成目標を実現できる資質・能力や適性を評価します。		●	●

※2018年10月31日「2020年度以降の入学者選抜の基本方針(第2報)」1ページ 表1の分類の表記を、よりわかりやすいよう語句からアルファベットに変更しました。

表2 多面的評価と総合的な評価（選抜方法）との関係（概要を示したもので、各学部等により違いがあります）

	A	B	C
調査書	●	●	●
多面的・総合的な評価のための申告書	●		●
活動実績報告書（教育学部）			●
学校長推薦書（学校推薦型選抜）	●		
志願者評価書（総合型選抜）	●		
大学入学共通テスト		●	
本学が指定する教科・科目による学力検査		●	
小論文		●	●
集団面接	●		●
面接（口頭試問を含む）	●		●
実技		●	●
その他			

※2018年10月31日「2020年度以降の入学者選抜の基本方針(第2報)」2ページ 表1の分類に対応する表2の表記を、表1にあわせてアルファベットに変更しました。

#### ○学力の評価を十分に行う入学者選抜への改善

一般選抜では、グローバル化に対応するため全受験生に英語認定試験を受験資格として課します。また、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を適切に評価するために、全受験生に大学入学共通テストを課し、個別学力検査等においても、本学が指定する教科・科目による学力検査、小論文などの記述式問題を導入します。同様に、総合型選抜・学校推薦型選抜では、学部・学科ごとに大学入学共通テスト、または本学が指定する教科・科目による学力検査や小論文を課すこととし、学力の評価を十分に行うことができるよう改善しました。

## 2. 各学部における大学入学者選抜改革の特徴について

### ○教育学部

教員養成の観点から、これまで以上に強く教員を志望する学生を受け入れる選抜方法を検討してきました。その結果、基礎学力と明確な志望の動機を有する学生を求めることとし、すべての受験者に対して「多面的・総合的な評価のための申告書」の提出を課し、高校3年間の成長と大学での学びの意欲を自らの言葉で記載することを求め、選抜の柱とします。また、一般選抜においては、英語認定試験を受験資格として課すこと

により、教育現場でのグローバル化に対応します。さらに、前期試験においては、全受験者に対して集団面接を課し、教員としての適性を評価することとします。

### ○医学部

これまでの入試選抜方法を継続・発展させることを主眼に置きつつ、多面的・総合的な評価方法を意識した制度設計を行います。医学部においては、全ての試験区分において従来どおり面接試験を実施します。看護学科においては、前期試験で小論文により論理的な思考力や表現力を評価し、また、後期試験及び学校推薦型選抜では、「多面的・総合的な評価のための申告書」に記載されている内容等から、適性などを評価して選抜を行います。医学科においては、学校推薦型選抜として地域枠を継続して地域医療の担い手を養成することとし、また、後期試験では、これまで同様に学力に重点を置いた入試を行うこととします。

### ○工学部

一般選抜において、前期試験は共通テストと個別学力検査を課す学力重視の入試を行うこととし、後期試験は「多面的・総合的な評価のための申告書」の提出に加え、面接を課すことで多様な資質能力を有した学生を求めるバランスを重視した入試を設計します。さらに、共通テストを課さない総合型選抜Ⅰと共通テストを課す総合型選抜Ⅱを実施し、さまざまな選抜方法や入試科目を課すことで、学部内に多様な資質・能力を有する人材が集うことをめざした入試を実施します。

### ○生命環境学部

学力の3要素である「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」について総合的に評価を行います。

そこで、大学入学共通テストにより教科・科目に係る基礎学力を評価するとともに、志願者が提出する書類の記載内容を選抜資料として活用します。

前期個別学力検査では、「調査書」の記載内容を活用するとともに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価するために新たに小論文を実施します。小論文では、日本文や英文の理解と論述、図表などで示されたデータの分析等に関する総合的な設問がなされます。後期個別学力検査では、「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」の記載内容を活用するとともに、面接を実施しアドミッションポリシーへの適性を評価します。総合型選抜Ⅱでは、「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」及び「志願者評価書」の記載内容を活用するとともに、面接を実施してアドミッションポリシーに適合した学力の3要素を身に付けているかを総合的に評価します。

## 3. 個別学力検査等において提出を要する書類等について

本学では、アドミッションポリシーに基づき求める人物像や能力などを踏まえ、高等学校における学習活動や課外活動などの実績及び学習意欲等を含めた学力試験によって測ることのできない資質・能力や態度をより適切に評価するために、表3に示す書類の提出を求めます。

なお、各学科等により、表3に示す以外に、「活動実績報告書」や「面接用事前レポート」、「誓約書」等を課す場合があります。

表3 提出を要する書類等

提出書類	選抜方法		作成者
調査書	全ての入試区分		学校長
多面的・総合的な評価のための申告書	教育学部	全ての入試区分	志願者本人
	医学部	一般選抜後期日程（看護） 学校推薦型選抜	
	工学部	一般選抜後期日程 総合型選抜	
	生命環境学部	一般選抜後期日程 総合型選抜	
学校長推薦書	教育学部、医学部の学校推薦型選抜		学校長
志願者評価書	生命環境学部、工学部（一部）の総合型選抜		学校長

## ○多面的・総合的な評価のための申告書

入学志願者本人が記載する提出書類の多様化やその内容の充実を図るために、「多面的・総合的な評価のための申告書」の提出を課すこととします。本申告書は、「活動報告書」と「大学入学希望理由書」、「学修計画書」の3つの要素を含んだ書式・内容であり、本学への志願者に関する多面的な情報が提供されることを目的としています。同時に、志願者が大学で学ぶ目的を見つめなおし、自らの進路について主体的に考える機会を設け、大学での学修への意欲を高めるために課すものです。

また、本申告書だけでなく、調査書、大学入学共通テスト、個別学力試験等の様々な観点から総合的に評価を行うための基礎資料として活用する予定です。必ず志願者本人が作成し、記載内容において調査書等の提出書類との整合性が保たれていることが求められます。

## ○志願者評価書

総合型選抜において、多面的・総合的な評価のための基礎資料として、本人の学修や活動の成果を踏まえた「学力の3要素」に関する志願者評価書の提出を課すこととします。学校長による推薦を目的とした推薦書とは異なり、調査書を補完し、学力の3要素に関するより詳細な志願者の情報を把握することを目的としています。その記載内容に基づき、特性評価、適性評価等に関してより丁寧な多面的・総合的な評価を実施します。

## 4. 一般選抜以外の選抜方法の概要について

令和2(2020)年度以降の入学選抜では、多面的・総合的な評価を取り入れつつ、それぞれの選抜方法の特性をより明確にする観点から、従来の「一般入試」が「一般選抜」へ、「AO入試」が「総合型選抜」へ、「推薦入試」が「学校推薦型選抜」へと、それぞれ変更されます。従来の「AO入試」、「推薦入試」では、原則として、知識・技能を中心とした学力の評価を行わないこととされてきましたが、今後の「総合型選抜」や「学校推薦型選抜」においては、この原則が改められ、いずれの選抜方法においても、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」といった学力を適切に評価することが義務付けられます。

本学の入学選抜改革においても、一般選抜以外に以下の選抜方法を実施します。

選抜方法	概要
総合型選抜Ⅰ	総合型選抜で、学力評価として大学入学共通テストを課さず、大学独自の学力評価を実施する選抜方法
総合型選抜Ⅱ	総合型選抜で、学力評価として大学入学共通テストを課す選抜方法
学校推薦型選抜Ⅰ	学校推薦型選抜で、学力評価として大学入学共通テストを課さず、大学独自の学力評価を実施する選抜方法
学校推薦型選抜Ⅱ	学校推薦型選抜で、医学科（地域枠）で実施される大学入学共通テストを課す選抜方法

## 5. 大学入学共通テストにおける英語認定試験の活用方法等

### ○英語認定試験に関する共通の事項

- ・受験生の受験機会の公平性を保障する観点から、大学入試センターが認定した民間のすべての資格・検定試験（以下、「英語認定試験」）を対象とします。
- ・グローバル化する社会における英語4技能の修得の重要性に鑑み、「一般選抜」の既卒者を含むすべての受験生に英語認定試験を課し、「CEFRによる対照表」に基づき学部・学科が定める出願資格としてのみ活用します。
- ・大学入学共通テストの外国語において英語または英語以外のドイツ語、フランス語、中国語、韓国語の4科目から1科目を選択する既卒者を含むすべての受験生に英語認定試験を課し、「CEFRによる対照表」に基づき学部・学科が定める出願資格としてのみ活用します。
- ・生命環境学部のすべての学科において実施する「総合型選抜Ⅱ」において、大学入学共通テストの外国語において英語または英語以外のドイツ語、フランス語、中国語、韓国語の4科目から1科目を選択する既卒者を含むすべての受験生に英語認定試験を課し、「CEFRによる対照表」に基づき学部・学科が定める出願資格としてのみ活用します。
- ・医学部医学科において実施する「学校推薦型選抜Ⅱ」において既卒者を含むすべての受験生に英語認定試験を課し、「CEFRによる対照表」に基づき学部・学科が定める出願資格としてのみ活用します。

- ・工学部のすべての学科が実施する「総合型選抜Ⅱ」では、英語認定試験を課しません。
- ・既卒者を含むすべての受験生の英語認定試験の成績については、大学入学共通テスト受験年度の4月から12月までに受検し、英語認定試験実施主体から大学入試センターに提供された2回までの試験成績とします。本学では、大学入試センターから英語認定試験の成績提供を受けて選抜に際し利用します。
- ・大学入学共通テストの外国語の英語における、リーディング(100点)、リスニング(100点)の計200点満点に対する本学の配点比率の詳細は、今年度10月末を目途に追録として公表します。
- ・令和3年度大学入学共通テストから新たに導入される英語認定試験については、経済格差、地域格差等の公平性や英語認定試験実施主体等の受検体制の整備などこれまで様々な問題が指摘されています。本学では、令和4年度以降の入学選抜における英語認定試験の活用方法について、引き続き検討を重ねていくこととします。

### (1) 一般選抜における英語認定試験の活用方法

○各学部の英語認定試験活用方法：『出願資格』としてのみ活用します。

学部	学科・コース等	出願資格とする CEFR の段階
教育学部	すべてのコース	A 1 以上
医学部	医学科	A 2 以上
	看護学科	A 1 以上
工学部	すべての学科	A 2 以上
生命環境学部	すべての学科	A 2 以上

### (2) 総合型選抜Ⅱ・学校推薦型選抜Ⅱにおける英語認定試験の活用方法

① 総合型選抜Ⅱ：生命環境学部で『出願資格』としてのみ活用します

学部	学科・コース等	英語認定試験の要否	出願資格とする場合の CEFR の段階
工学部	すべての学科	不要	—
生命環境学部	すべての学科	要	A 2 以上

② 学校推薦型選抜Ⅱ：医学部医学科で『出願資格』としてのみ活用します。

学部	学科・コース等	英語認定試験の要否	出願資格とする場合の CEFR の段階
医学部	医学科	要	A 2 以上

## 6. 大学入学共通テストの記述式問題の活用方法等

- (1) 数学の記述式問題の得点は、マーク式問題の得点と合わせて入学選抜に活用します。
- (2) 国語の記述式問題の得点は、下表のとおり大学入試センターが提供する国語記述式問題の総合評価5段階別(A～E)成績結果に応じて点数化し(20点満点)、大学入学共通テストの国語マーク式問題の得点(200点満点)に加算のうえ200点満点に換算し、さらに各学部・学科の配点に応じて換算します。各学部・学科の配点の詳細は、今年度10月末を目途に追録として公表します。(P. 34～49をご確認ください)

①一般選抜

学部	学科・コース等	大学入試センターが提供する総合評価5段階別成績				
		A	B	C	D	E
全学部共通	全学科・コース共通	20	15	10	5	0

②総合型選抜Ⅱ

学部	学科・コース等	大学入試センターが提供する総合評価5段階別成績				
		A	B	C	D	E
工学部	国語を課すすべての学科	20	15	10	5	0
生命環境学部	すべての学科	20	15	10	5	0

③学校推薦型選抜Ⅱ

学部	学科・コース等	大学入試センターが提供する総合評価5段階別成績				
		A	B	C	D	E
医学部	医学科	20	15	10	5	0

## 7. 教科・科目の表記について

大学入学共通テストの出題教科・科目名は、次のように略しています。

教科	表記	科目	表記
国語	国	国語	国
地理歴史	地歴	世界史 A	世 A
		世界史 B	世 B
		日本史 A	日 A
		日本史 B	日 B
		地理 A	地理 A
		地理 B	地理 B
公民	公民	現代社会	現社
		倫理	倫
		政治・経済	政経
		倫理、政治・経済	倫・政経
数学	数	数学 I	数 I
		数学 I・数学 A	数 I・数 A
		数学 II	数 II
		数学 II・数学 B	数 II・数 B
		簿記・会計	簿
		情報関係基礎	情報
理科	理	物理基礎	物基
		化学基礎	化基
		生物基礎	生基
		地学基礎	地基
		物理	物
		化学	化
		生物	生
		地学	地
外国語	外	英語	英
		ドイツ語	独
		フランス語	仏
		中国語	中
		韓国語	韓

個別学力検査の出題教科・科目名は、次のように略しています。

教科	表記	科目	表記
国語	国	国語総合・国語表現・ 現代文 A・現代文 B・ 古典 A・古典 B	国語総合・国語表現・ 現代文 A・現代文 B・ 古典 A・古典 B
数学	数	数学 I	数 I
		数学 II	数 II
		数学 III	数 III
		数学 A	数 A
		数学 B	数 B
理科	理	物理基礎	物基
		化学基礎	化基
		生物基礎	生基
		物理	物
		化学	化
外国語	外	コミュニケーション英語基礎・コミュニ ケーション英語 I・コミュニケーシ ョン英語 II・コミュニケーション英語 III・英語表現 I・英語表現 II・英語会 話	コミュニケーション英語基礎・コミュニ ケーション英語 I・コミュニケーシ ョン英語 II・コミュニケーション英語 III・英語表現 I・英語表現 II・英語会 話

## 8. 一般選抜（個別学力検査）の概要

### (1) 前期日程

学部・課程・学科・コース名		選抜方法等	個別学力検査							備考 欠員の 補充の 方法等
			個別学力 検査を課 する	実技検査等				2段階選抜		
				実技検査 を課する	面接を行 う	小論文を 課する	外国語に おけるリス ニング テストを 課する	主として、調 査書の内容と 大学入学共通 テストの成績 により第1段 階選抜を行 い、その合格 者について更 に必要な検査 等を行う	第1段階の選抜 による合格者数	
教 育 学 部	学 校 教 育 課 程	幼小発達教育コース	○	×	○(集団)	×	×	×	×	×
		障害児教育コース	○	×	○(集団)	×	×			
		言語教育コース	○	×	○(集団)	×	×			
		生活社会教育コース	○	×	○(集団)	×	×			
		科学教育コース	○	×	○(集団)	×	×			
		芸術身体教育コース	×	○	○(集団)	×	×			
医 学 部	看護学科	×	×	○ (注)4	○	×	×	×	×	
工 学 部	機械工学科	○ (注)5	×	×	×	×	×	×	×	追加合格及 び欠員補充 第2次募集
	電気電子工学科									
	コンピュータ理工学科									
	情報メカトロニクス工学科									
	土木環境工学科									
	応用化学科									
先端材料理工学科										
生 命 環 境 学 部	生命工学科	×	×	×	○ (注)8	×	×	×	×	
	地域食物科学科 (注)6									
	環境科学科									
	地域社会システム学科 (注)7									

(注)1 ○印は、当該検査等を課すこと又は該当することを示します。

2 ×印は、当該検査等を課さないこと又は該当しないことを示します。

3 本学の前期日程の学部・学科（課程・コース）と後期日程の学部・学科（課程・コース）との併願は可能です。

4 医学部看護学科前期日程における面接の評価については、令和3年度入学者選抜要項で公表します。

5 工学部の前期日程では、個別学力検査において受験する教科・科目に応じて、志望学科にそれぞれ第1、第2の志望順位を付けて出願することができます。

6 生命環境学部地域食物科学科は、ワイン科学特別コースを含みます。なお、ワイン科学特別コースの志願者は、地域食物科学科（前期日程募集）を第2志望とすることが可能です。

7 生命環境学部地域社会システム学科は、観光政策科学特別コースを含みます。なお、観光政策科学特別コースの志願者は、地域社会システム学科（前期日程募集）を第2志望とすることが可能です。

8 生命環境学部の小論文試験の概要に関しては、25 ページ「生命環境学部の小論文試験について」を参照ください。

### 『提出を要する書類』

学部・課程・学科・コース	(前期日程) 提出を要する書類		
	調査書	多面的・総合的な評価のための申告書	活動実績報告書
教育学部	○	○	○ (芸術身体教育コースの体育実技を選択する方のみ)
医学部 看護学科	○		
工学部	○		
生命環境学部	○		

## 生命環境学部の小論文試験について（概要）

生命環境学部では、令和3年度の入学者を選抜する入試から、一般選抜(前期)の個別学力検査において、従来の学科目試験に替えて小論文試験を行います。小論文試験では、総合的な設問により、知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。

### 【出題のねらいと出題パターン】

#### 1) 文章理解力・論述力の評価（文章読解型）

課題となる文章（英文やデータ資料等を含む場合がある）が提示されます。この課題文の内容理解に基づいて、設問の求めるところを考察し、論述をしていただきます。

#### 2) 図表データの分析力・表現力の評価（資料データ分析型）

図・表を含むデータ資料（英文や英語表記を含む場合がある）が提示されます。そのデータを分析、または解釈し、特徴や傾向の理解に基づいて、設問の求めに応じた論述や作図をしていただきます。

### 【試験時間・問題数・配点】

- ・ 試験時間は90～120分を予定しています。
- ・ 小論文問題は2問を予定しています。
- ・ 大学入学共通テストに対する配点比率は、

「大学入学共通テスト」：「個別学力検査（小論文）」＝8：2～10：1程度を予定しています。

詳細は当該年度の入学者選抜要項を参照してください。

(2) 後期日程

学部・課程・学科・コース名		選抜方法等	個別学力検査							備考 欠員の補充の方法等
			個別学力検査を課する	実技検査等				2段階選抜		
				実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	主として、調査書の内容と大学入学共通テストの成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う	第1段階の選抜による合格者数	
教育学部	学校教育課程	幼小発達教育コース	×	×	○	×	×	×	×	×
		障害児教育コース	×	×	○	×	×			
		言語教育コース	×	×	○	×	×			
		生活社会教育コース	×	×	○	×	×			
		科学教育コース	×	×	○	×	×			
		芸術身体教育コース	×	○	○	×	×			
医学部	医学科	○	×	○ (注)4	×	×	○	約10倍	×	
	看護学科	×	×	○ (注)4	×	×	×	×	×	
工学部	機械工学科	×	×	○ (注)5	×	×	×	×	×	×
	電気電子工学科									
	コンピュータ理工学科									
	情報メカトロニクス工学科									
	土木環境工学科									
	応用化学科									
生命環境学部	生命工学科	×	×	○	×	×	×	×	×	×
	地域食物科学科									
	環境科学科									
	地域社会システム学科									

- (注)1 ○印は、当該検査等を課すこと又は該当することを示します。  
 2 ×印は、当該検査等を課さないこと又は該当しないことを示します。  
 3 本学の前期日程の学部・学科（課程・コース）と後期日程の学部・学科（課程・コース）との併願は可能です。  
 4 医学部医学科及び看護学科の後期日程における面接の評価については、令和3年度入学者選抜要項で公表します。  
 5 工学部の後期日程では、全学科の間で、志望学科にそれぞれ第1、第2の志望順位を付けて出願することができます。

『提出を要する書類』

学部・課程・学科・コース	(後期日程) 提出を要する書類		
	調査書	多面的・総合的な評価のための申告書	活動実績報告書
教育学部	○	○	○ (芸術身体教育コースの体育実技を選択する方のみ)
医学部	医学科	○	
	看護学科	○	
工学部	○	○	
生命環境学部	○	○	

## 9. 学校推薦型選抜・総合型選抜の概要

学部・課程・学科・コース名		選抜方法等		学校推薦型選抜Ⅰ					学校推薦型選抜Ⅱ					備考
		大学入学共通テスト	実技検査等					大学入学共通テスト	実技検査等					
			実技検査	面接	小論文	口頭試問	その他		実技検査	面接	小論文	口頭試問	その他	
教育学部	学校教育課程	幼小発達教育コース	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	選抜方法等の詳細は、令和3年度入学要項で公表します。
		障害児教育コース	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	
		言語社会教育コース	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	
		生活社会教育コース	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	
		科学教育コース	×	×	△ (注)3	△ (注)3	△ (注)3	×	×	×	×	×	×	
		芸術身体教育コース	×	○ (注)4	○	×	×	×	×	×	×	×	×	
医学部	医学科	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	選抜方法等の詳細は、令和3年度入学要項で公表します。	
	看護学科	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×		
学部・課程・学科・コース名		選抜方法等		総合型選抜Ⅰ					総合型選抜Ⅱ					備考
		大学入学共通テスト	実技検査等					大学入学共通テスト	実技検査等					
			実技検査	面接	小論文	口頭試問	その他		実技検査	面接	小論文	口頭試問	その他	
工学部	機械工学科	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	選抜方法等の詳細は、令和3年度入学要項で公表します。	
	電気電子工学科	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	×		
	コンピュータ理工学科	×	×	○	○	×	×	○	×	×	×	○ (注)6		
	情報メカトロニクス工学科	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	×		
	土木環境工学科	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	×		
	応用化学科	×	○	○	×	○	○ (注)6	○	×	○	×	×		○ (注)6
	先端材料理工学科	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	×		○ (注)6
生命環境学部	生命工学科	×	×	×	×	×	×	○ (注)5	×	○	×	×	選抜方法等の詳細は、令和3年度入学要項で公表します。	
	地域食物科学科	×	×	×	×	×	×	○ (注)5	×	○	×	×		
	環境科学科	×	×	×	×	×	×	○ (注)5	×	○	×	×		
	地域社会システム学科	×	×	×	×	×	×	○ (注)5	×	○	×	×		

(注)1 ○印は、当該検査等を課すこと又は該当することを示します。

2 ×印は、当該検査等を課さないこと又は該当しないことを示します。

3 △印は、教科別推薦入試においては面接と小論文を課し、専門・総合学科推薦入試においては口頭試問を課します。

4 教育学部の芸術身体教育コースの体育実技を選択する方は、活動実績報告書とその証明書類の提出をもって実技検査とします。

5 大学入学共通テストの外国語において英語または英語以外のドイツ語、フランス語、中国語、韓国語の4科目から1科目を選択する既卒者を含むすべての受験生に英語認定試験を課し、「CEFRによる対照表」に基づき学部・学科が定める出願資格としてのみ活用します。

6 30 ページ (3) 工学部『総合型選抜Ⅰ』、『総合型選抜Ⅱ』の『提出書類・選抜方法等』を参照ください。

(1) 教育学部 『学校推薦型選抜Ⅰ』

教育学部では、一般選抜以外の選抜方法として、「学校推薦型選抜Ⅰ」の選抜方法を以下のとおり対象ごとに3種類に再編して実施します。学力評価として大学入学共通テストを課さず、下に示す表のような大学独自の学力評価を実施します。

『提出書類・選抜方法等』

	教育学部		
	学校推薦型選抜Ⅰ		
	教科別推薦入試	専門・総合学科推薦入試	山梨県の小学校教員志望者推薦入試
調査書	○	○	○
多面的・総合的な評価のための申告書	○	○	○
学校長推薦書	○	○	○
活動実績報告書	○(芸術身体 保健体育系)		
小論文	○(芸術身体以外)	○(生活社会 家政系)	○
実技	○(芸術身体)		
口頭試問	○(科学 技術系)		
面接	○	○(生活社会 家政系)	○

(A) 学校推薦型選抜Ⅰ 教科別推薦入試

2020年度入試までの「一般推薦入試」を引き継ぐもので、新たに幼小発達教育コースでも募集を行います。幼小発達教育コースと障害児教育コースではコースごとに募集し、その他のコースでは教科ごとに募集を行うもので、(B)や(C)のように対象を限定しない推薦入試です。

『募集人員等』

課程・コース名		募集人員	推薦入試の対象となる高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ。)・志願者の範囲	
学校教育課程	幼小発達教育コース	2人	全国の国公立高等学校	
	障害児教育コース	4		
	言語教育コース	国語教育系		2
		英語教育系		2
	生活社会教育コース	社会科教育系		2
		家政教育系		3
	科学教育コース	数学教育系		2
		理科教育系		2
		技術教育系		3
	芸術身体教育コース	音楽教育系		2
美術教育系		2		
	保健体育系	4		

(B) 学校推薦型選抜Ⅰ 専門・総合学科推薦入試

2020年度入試まで科学教育コースで募集していた「専門学科・総合学科卒業生推薦入試」を引き継ぐもので、科学教育コースの技術教育系と新たに生活社会教育コースの家政教育系で募集を行います。専門学科及び総合学科を卒業する者を対象とした推薦入試です。

『募集人員等』

課程・コース名		募集人員	推薦入試の対象となる高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ。)・志願者の範囲
学校教育課程	生活社会教育コース 家政教育系	1人	全国の国公立高等学校の家庭に関連する学科、又は全国の国公立高等学校の総合学科のうち家庭に関する科目を含め、職業に関する科目を20単位以上履修見込みの方
	科学教育コース 技術教育系	1人	全国の国公立高等学校の農業、工業、情報に関連する学科、又は全国の国公立高等学校の総合学科のうち農業、工業、情報に関する科目を含め職業に関する科目を20単位以上履修見込みの方

(C) 学校推薦型選抜Ⅰ 山梨県の小学校教員志望者推薦入試

2021年度入試から新たに、山梨県の小学校教員を志望する受験生を対象とした「山梨県の小学校教員志望者推薦入試」を実施します。小学校1種免許状とともに他校種の教員免許も取得することになります。山梨県教育委員会と連携した教育により、山梨県の小学校教員としての素養を持った教員の養成を目指した推薦入試です。

『募集人員等』

課程・コース名	募集人員	推薦入試の対象となる高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ。)・志願者の範囲
学校教育課程	12人	全国の国公立高等学校

(2) 医学部『学校推薦型選抜Ⅰ』、『学校推薦型選抜Ⅱ』

『提出書類・選抜方法等』

	医学部	
	医学科	看護学科
	学校推薦型選抜Ⅱ	学校推薦型選抜Ⅰ
調査書	○	○
多面的・総合的な評価のための申告書	○	○
学校長推薦書	○	○
誓約書	○	
大学入学共通テスト	○	
英語認定試験	○	
小論文		○
面接	○	○

『募集人員等』

学科名	募集人員		種別	推薦入試の対象となる高等学校の範囲
	学校推薦型選抜Ⅱ	学校推薦型選抜Ⅰ		
医学科	15人以内		地域枠	山梨県内の公立高等学校
看護学科		25人		全国の国公私立高等学校若しくは中等教育学校

(注) 医学科の学校推薦型選抜Ⅱは、第1次選考と及び第2次選考により行います。  
 医学科の募集人員は、変更されることがあります。

『学校推薦型選抜Ⅱ（医学科）に課される大学入学共通テストの利用教科・科目等』

学科	教科	科目数	科目の指定
医学科	国	1	国
	地歴 公民	1	世B、日B、地B、倫・政経の4科目のうちから1科目選択
	数	2	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B
	理	2	物、化、生の3科目のうちから2科目選択
	外	1	英

※大学入学共通テストの配点については、今年度10月末を目途に追録として公表します。(P.45をご確認ください)

(3) 工学部『総合型選抜Ⅰ』、『総合型選抜Ⅱ』

『公表内容の訂正』

2018年7月30日『2020年度以降の入学者選抜の基本方針』P.9 ②総合型選抜Ⅰ、Ⅱ『提出書類・選抜方法』の公表内容を下線部分のとおり訂正（表記の変更含む）します。

【訂正後】

『提出書類・選抜方法等』

学科	総合型選抜Ⅰ		総合型選抜Ⅱ						
	コンピュータ理工学科	応用化学科	機械工学科	電気電子工学科	コンピュータ理工学科	情報メカトロニクス工学科	土木環境工学科	応用化学科	先端材料理工学科
調査書	○	○	○	○	○	○	○	○	○
多面的・総合的な評価のための申告書	○	○	○	○	○	○	○	○	○
志願者評価書	○					○	○		○
面接用事前レポート			○						
大学入学共通テスト			○	○	○	○	○	○	○
小論文	○(注1)			○		○	○ (講義要約)		○
実技		化学実験に関する試問							
その他		a 化学に関する口頭試問 b 化学グランプリの一次選考の成績  二つの評価方法のどちらか1又は両方を出願時に選択する				共通テストの得点に合格最低基準を設ける		共通テストの化学が平均点以上であること	共通テストの得点に合格最低基準を設ける
面接 (口頭試問を含む)	○	○ 選択	○	○		○	○	○	○

(注1) 数学・理科・外国語の素養に関する内容を含む

【訂正前（2018年7月30日の公表内容）】

学科	総合型選抜Ⅰ		総合型選抜Ⅱ						
	コンピュータ理工学科	応用化学科	機械工学科	電気電子工学科	コンピュータ理工学科	情報メカトロニクス工学科	土木環境工学科	応用化学科	先端材料理工学科
調査書	○	○	○	○	○	○	○	○	○
多面的・総合的な評価のための申告書	○	○	○	○	○	○	○	○	○
志願者評価書	○					○	○		○
面接用事前レポート			○						
大学入学共通テスト			○	○	○	○	○	○(化学・物数英2)	○
小論文	○(数学・理科・外国語の素養に関する内容を含む)			○		○	○ (講義要約)		○
実技		化学実験に関する試問							
その他		a 化学に関する口頭試問 b 化学グランプリ (a and/or bを志願)						共通テストの得点に合格最低基準を設ける	
面接 (口頭試問を含む)	○	○	○	○		○	○	○	○

『募集人員等』

学科名	募集人員		総合型選抜の対象となる高等学校の範囲
	総合選抜型Ⅰ	総合選抜型Ⅱ	
機械工学科		17人	全国の国公立高等学校若しくは中等教育学校
電気電子工学科		17	
コンピュータ理工学科	8人	12	
情報メカトロニクス工学科		17	
土木環境工学科		17	
応用化学科	12人	12	
先端材料理工学科		11	

『総合型選抜Ⅱに課される大学入学共通テストの利用教科・科目等』

学科	教科	科目数	科目の指定
機械工学科	国	1	国
	地歴	1	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択
	公民		
	数	2	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B
	理	2	物、化
	外	1	英

学科	教科	科目数	科目の指定
電気電子工学科	国	1	国
	地歴		
	公民		
	数	2	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B
	理	2	物、化
	外	1	英

学科	教科	科目数	科目の指定
情報メカトロニクス工学科	国	1	国
	地歴	1	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択
	公民		
	数	2	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B
	理	2	物、化
	外	1	英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択

学科	教科	科目数	科目の指定
土木環境工学科	国	1	国
	地歴	1	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択
	公民		
	数	2	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B
	理	2	物、化
	外	1	英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択

学科	教科	科目数	科目の指定
応用化学科	国		
	地歴		
	公民		
	理	1	化
	数	2	物 数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B
	外	※	英

(注)「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」、「物理」、「英語」の4科目から、得点の高い2科目を大学側で採用します(志願者の選択は要しません)。

学科	教科	科目数	科目の指定
先端材料理工学科	国	1	国
	地歴	1	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択
	公民		
	数	2	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B
	理	2	物、化
	外	1	英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択

※大学入学共通テストの配点については、今年度10月末を目途に追録として公表します。(P.46~47をご確認ください)

『公表内容の訂正』

2018年7月30日「2020年度以降の入学選抜の基本方針」P.10『総合型選抜Ⅱに課される大学入学共通テストの利用教科・科目等』において「コンピュータ理工学科」についての公表内容を、下線部分のとおり訂正（名称変更のみ）します。

【訂正後】

コンピュータ理工学科については、以下に示す4つの型のうち少なくとも1つの型に合致する科目を受験する必要があります。

《数学重視型》

学科	教科	科目数	科目の指定
コンピュータ理工学科	国		
	地歴		
	公民		
	数	2	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B
	理		
外			

《理科重視型》

学科	教科	科目数	科目の指定
コンピュータ理工学科	国		
	地歴		
	公民		
	数		
	理	2	物、化、生のうちから2科目
外			

《英数理バランス型》

学科	教科	科目数	科目の指定
コンピュータ理工学科	国		
	地歴		
	公民		
	数	2	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B
	理	2	物、化、生のうちから2科目
外	1	英	

《言語力重視型》

学科	教科	科目数	科目の指定
コンピュータ理工学科	国	1	国
	地歴		
	公民		
	数	2	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B
	理		
外	1	英	

※大学入学共通テストの配点については、今年度10月を目途に追録として公表します。

【訂正前（2018年7月30日の公表内容）】

コンピュータ理工学科については、以下に示す4つの型のうち少なくとも1つの型に合致する科目を受験する必要があります。

《数学重視型》

学科	教科	科目数	科目の指定
コンピュータ理工学科	国		
	地歴		
	公民		
	数	2	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B
	理		
外			

《理科重視型》

学科	教科	科目数	科目の指定
コンピュータ理工学科	国		
	地歴		
	公民		
	数		
	理	2	物、化、生のうちから2科目
外			

《理系科目バランス型》

学科	教科	科目数	科目の指定
コンピュータ理工学科	国		
	地歴		
	公民		
	数	2	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B
	理	2	物、化、生のうちから2科目
外	1	英	

《コミュニケーション能力重視型》

学科	教科	科目数	科目の指定
コンピュータ理工学科	国	1	国
	地歴		
	公民		
	数	2	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B
	理		
外	1	英	

(4) 生命環境学部『総合型選抜Ⅱ』

『提出書類・選抜方法等』

	総合型選抜Ⅱ			
	生命工学科	地域食物科学科	環境科学科	地域社会システム学科
調査書	○	○	○	○
多面的・総合的な評価のための申告書	○	○	○	○
志願者評価書	○	○	○	○
大学入学共通テスト	○	○	○	○
英語認定試験	○	○	○	○
面接	○	○	○	○

『募集人員等』

学科名	募集人員	総合型選抜の対象となる高等学校の範囲
生命工学科	3人	全国の国公立高等学校若しくは中等教育学校
地域食物科学科	2	
環境科学科	3	
地域社会システム学科	3	

『総合型選抜Ⅱに課される大学入学共通テストの利用教科・科目等』

学科	教科	科目数	科目の指定
生命工学科 地域食物科学科	国	1	国
	地歴 公民	1	世 A、世 B、日 A、日 B、地理 A、地理 B、現社、倫、政経、倫・政経の 10 科目のうちから 1 科目選択
	数	2	数Ⅰ、数Ⅰ・数 A の 2 科目のうちから 1 科目選択 数Ⅱ、数Ⅱ・数 B、簿、情報の 4 科目のうちから 1 科目選択
	理	2	物、化、生の 3 科目のうちから 2 科目選択
	外	1	英、独、仏、中、韓の 5 科目のうちから 1 科目選択
環境科学科	国	1	国
	地歴 公民	1	世 A、世 B、日 A、日 B、地理 A、地理 B、現社、倫、政経、倫・政経の 10 科目のうちから 1 科目選択
	数	2	数Ⅰ、数Ⅰ・数 A の 2 科目のうちから 1 科目選択 数Ⅱ、数Ⅱ・数 B、簿、情報の 4 科目のうちから 1 科目選択
	理	2	物、化、生、地の 4 科目のうちから 2 科目選択
	外	1	英、独、仏、中、韓の 5 科目のうちから 1 科目選択
地域社会システム学科	国	1	国
	地歴 公民	2	世 A、世 B、日 A、日 B、地理 A、地理 B の 6 科目のうちから 1 科目選択
	理	3 教科から 2 科目選択	現社、倫、政経、倫・政経の 4 科目のうちから 1 科目選択 物、化、生、地から 1 又は 2 科目選択 若しくは物基、化基、生基、地基から 2 科目選択（2 科目で 1 科目とみなす）
	数	2	数Ⅰ、数Ⅰ・数 A の 2 科目のうちから 1 科目選択 数Ⅱ、数Ⅱ・数 B、簿、情報の 4 科目のうちから 1 科目選択
	外	1	英、独、仏、中、韓の 5 科目のうちから 1 科目選択

※大学入学共通テストの配点については、今年度 10 月末を目途に追録として公表します。(P. 48～49 をご確認ください)

10 一般選抜等（入学者選抜の実施教科・科目等）

(1) 教育学部

学部・学科等名	日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等												
		教科	科目数	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選 抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	配点 合計		
教育学部	幼稚園教育コース	前期	国	1	国	外	コミュニケーション英語基礎・コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ・英語会話 集団面接	大学入学共通テスト	100	100	100	100	100	100	100				600	
			地歴	1	世A、世B、日A、日B、地理A、地理Bの6科目のうちから1科目選択				個別学力検査等							200		200	400	
			公民	1	現社、倫、政経、倫・政経の4科目のうちから1科目選択					計	100	100	100	100	100	300		200	1000	
		数	2	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、簿、情報の3科目のうちから1科目選択	その他	面接	大学入学共通テスト	*200											600	
		理	1又は2 (注)1(2)	物基、化基、生基、地基の4科目のうちから2科目選択又は、物、化、生、地の4科目のうちから1科目選択				個別学力検査等											400	400
		外	1	英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択					計	*200	*100	*100	*200	*200	*200			400	1000	
	後期	国	1	国	その他	面接	大学入学共通テスト	*200											600	
		地歴	2	世A、世B、日A、日B、地理A、地理Bの6科目のうちから1科目選択				個別学力検査等											400	400
		公民	2	現社、倫、政経、倫・政経の4科目のうちから1科目選択					計	*200	*100	*100	*200	*200	*200			400	1000	
	障害児教育コース	前期	国	1	国	外	コミュニケーション英語基礎・コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ・英語会話 集団面接	大学入学共通テスト	100	100	100	100	100	100	100	100				600
			地歴	1	世A、世B、日A、日B、地理A、地理Bの6科目のうちから1科目選択				個別学力検査等							100		300	400	
			公民	1	現社、倫、政経、倫・政経の4科目のうちから1科目選択					計	100	100	100	100	100	200		300	1000	
数		2	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、簿、情報の3科目のうちから1科目選択	その他	面接	大学入学共通テスト	*200											600		
理		1又は2 (注)1(2)	物基、化基、生基、地基の4科目のうちから2科目選択又は、物、化、生、地の4科目のうちから1科目選択				個別学力検査等										200	200		
外		1	英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択					計	*200	*100	*100	*200	*200	*200			200	800		
後期	国	1	国	国	国語総合・国語表現・現代文A・現代文B・古典A・古典B	大学入学共通テスト	100	100	100	100	100	100	100	100				600		
	地歴	1	世A、世B、日A、日B、地理A、地理Bの6科目のうちから1科目選択				個別学力検査等									200		600		
	公民	1	現社、倫、政経、倫・政経の4科目のうちから1科目選択					計	300	100	100	100	100	300		200	1200			
言語教育コース	前期	数	2	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、簿、情報の3科目のうちから1科目選択	外	コミュニケーション英語基礎・コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ・英語会話 集団面接	大学入学共通テスト	100	100	100	100	100	100	100	100				600	
		理	1又は2 (注)1(2)	物基、化基、生基、地基の4科目のうちから2科目選択又は、物、化、生、地の4科目のうちから1科目選択				個別学力検査等									200	600		
		外	1	英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択					計	300	100	100	100	100	300		200	1200		
後期	国	1	国	その他	面接	大学入学共通テスト	200											600		
	地歴	1	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択				個別学力検査等											200	200	
公民	1	現社、倫、政経、倫・政経の4科目のうちから1科目選択	計	200				200						200	800					

学部・学科等名	日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											
		教科	科目数	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選 抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	配点 合計	
教育 学部	学校教育課程	生活社会教育コース	前期	国 地歴 公民 数 理 外	1 又は2 2 1又は2 又は3 (注)1(2) 1	国 世 A、世 B、日 A、日 B、地理 A、地理 B、現社、倫、政経、倫・政経の 10 科目のうちから 1 科目又は 2 科目選択 数Ⅰ・数 A 数Ⅱ・数 B、簿、情報の 3 科目のうちから 1 科目選択 a 物基、化基、生基、地基の 4 科目のうちから 2 科目選択又は、物、化、 生、地の 4 科目のうちから 1 科目選択 b 物基、化基、生基、地基の 4 科目のうちから 2 科目選択、並びに物、 化、生、地の 4 科目のうちから 1 科目選択又は、物、化、生、地の 4 科目 のうちから 2 科目選択 英、独、仏、中、韓の 5 科目のうちから 1 科目選択 ----- 生活社会教育コース前期日程における科目選択の種類 ・地歴、公民から 2 科目並びに理科の a を選択 ・地歴、公民から 1 科目並びに理科の b を選択	外 その他	コミュニケーション英語基礎・コミュニケーション英語 Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語 Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ・英語会話 集団面接	大学入学共通 テスト	100 (注)3(1)	* (200) * (100) (注)3(4)	100	* (100) * (200) (注)3(5)	100 (注)3(2)					600
			個別学力検査等												200			200	400
			計	100	* (200) * (100) (注)3(4)	100	* (100) * (200) (注)3(5)				200			200	1000				
		後期	国 地歴 公民 数 理 外	1 又は2 2 1又は2 又は3 (注)1(2) 1	国 世 A、世 B、日 A、日 B、地理 A、地理 B、現社、倫、政経、倫・政経の 10 科目のうちから 1 科目又は 2 科目選択 数Ⅰ・数 A 数Ⅱ・数 B、簿、情報の 3 科目のうちから 1 科目選択 a 物基、化基、生基、地基の 4 科目のうちから 2 科目選択又は、物、化、 生、地の 4 科目のうちから 1 科目選択 b 物基、化基、生基、地基の 4 科目のうちから 2 科目選択、並びに物、 化、生、地の 4 科目のうちから 1 科目選択又は、物、化、生、地の 4 科目 のうちから 2 科目選択 英、独、仏、中、韓の 5 科目のうちから 1 科目選択 ----- 生活社会教育コース後期日程における科目選択の種類 ・国、数、外の 3 教科を選択 ・国、数、外から 2 教科並びに地歴、公民から 2 科目を選択 ・国、数、外から 2 教科並びに地歴、公民から 1 科目並びに理科 a を選択 ・国、数、外から 2 教科並びに理科 b を選択 ・国、数、外から 1 教科並びに地歴、公民から 2 科目並びに理科 b を選択	その他	面接	大学入学共通 テスト	*200 (注)3(1)	* (200) * (100) (注)3(4)	*200	* (100) * (200) (注)3(5)	*200					200	200
		個別学力検査等																200	200
		計	*200	(200) (100) (注)3(4)	*200	(100) (200) (注)3(5)				*200			200	800					
	科学教育コース	前期	国 地歴 公民 数 理 外	1 1 2 2又は3 1	国 世 A、世 B、日 A、日 B、地理 A、地理 B、現社、倫、政経、倫・政経の 10 科目のうちから 1 科目選択 数Ⅰ・数 A 数Ⅱ・数 B、簿、情報の 3 科目のうちから 1 科目選択 物基、化基、生基、地基の 4 科目のうちから 2 科目、並びに物、化、生、 地の 4 科目のうちから 1 科目選択又は、物、化、生、地の 4 科目のうち から 2 科目選択 英、独、仏、中、韓の 5 科目のうちから 1 科目選択	数 理 その他	数Ⅰ・数 A・数Ⅱ・数 B 物基・物、化基・化、生基・生 理科は 1 科目を選択 集団面接	大学入学共通 テスト	100 (注)3(1)	100	150	150	100 (注)3(2)					600	
		個別学力検査等									200	200					200	600	
		計	100	100	350	350	100	1200											
		後期	国 地歴 公民 数 理 外	1 1 2 2又は3 1	国 世 A、世 B、日 A、日 B、地理 A、地理 B、現社、倫、政経、倫・政経の 10 科目のうちから 1 科目選択 数Ⅰ・数 A 数Ⅱ・数 B、簿、情報の 3 科目のうちから 1 科目選択 物基、化基、生基、地基の 4 科目のうちから 2 科目、並びに物、化、生、 地の 4 科目のうちから 1 科目選択又は、物、化、生、地の 4 科目のうち から 2 科目選択 英、独、仏、中、韓の 5 科目のうちから 1 科目選択	その他	面接	大学入学共通 テスト	100 (注)3(1)	100	300	300	100 (注)3(2)					900	
		個別学力検査等															200	200	
		計	100	100	300	300	100	1100											

学部・学科等名	日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等												
		教科	科目数	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選 抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	配点 合計		
教育学部	芸術身体教育コース	前期	国	1	国	その他	実技、集団面接		大学入学共通 テスト	150 (注)3(1)	50	50	100	100	150 (注)3(2)					600
			公民	1	現社、倫、政経、倫・政経の4科目のうちから1科目選択				個別学力検査等								400	200	600	
		数	2	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、簿、情報の3科目のうちから1科目選択	計	150	50		50	100	100	150		400	200	1200				
		理	1又は2 (注)1(2)	物基、化基、生基、地基の4科目のうちから2科目選択又は、物、化、生、地の4科目のうちから1科目選択	大学入学共通 テスト	*200 (注)3(1)	*100		*100	*200	*200	*200						600		
後期	外	1	英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択	その他	実技、面接		個別学力検査等								400	200	600			
	国	1	国				計	*200	*100	*100	*200	*200	*200	400	200	1200				
地歴	2	世A、世B、日A、日B、地理A、地理Bの6科目のうちから1科目選択	6教科のうちから地歴、公民を含まない3教科選択又は、地歴、公民を含む4教科選択																	
公民	2	現社、倫、政経、倫・政経の4科目のうちから1科目選択																		
数	2	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、簿、情報の3科目のうちから1科目選択																		
理	1又は2 (注)1(2)	物基、化基、生基、地基の4科目のうちから2科目選択又は、物、化、生、地の4科目から1科目選択																		
外	1	英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択																		

(注)

1 大学入学共通テストの利用教科・科目等

- 大学入学共通テストの地理歴史及び公民のうちから1科目のところ2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をその成績とします。
- 大学入学共通テストの「物理、化学、生物、地学」のうちから1科目のところ2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をその成績とします。
- 科学教育コース以外のコースにおいては、「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」と「物理、化学、生物、地学」の両方を大学入学共通テストで受験した場合、いずれか得点の高い方をその成績とします。
- 生活社会教育コース前期日程においては、地歴、公民から1科目選択した場合は理科bを選択し、地歴、公民から2科目選択した場合は、理科aを選択してください。
- 生活社会教育コース後期日程における科目選択の種類
  - 国、教、外の3教科
  - 国、教、外から2教科並びに地歴、公民から2科目
  - 国、教、外から2教科並びに地歴、公民から1科目並びに理科a
  - 国、教、外から2教科並びに理科b
  - 国、教、外から1教科並びに地歴、公民から2科目並びに理科b

2 個別学力検査等

数 学

- 前期日程における個別学力検査等の数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Aは、全範囲を出題範囲とします。
- 前期日程における個別学力検査等の数学Bは、『数列』及び『ベクトル』を出題範囲とします。

物 理

- 前期日程における個別学力検査等の物理基礎・物理は、全範囲を出題範囲とします。

化 学

- 前期日程における個別学力検査等の化学基礎・化学は、全範囲を出題範囲とします。

生 物

- 前期日程における個別学力検査等の生物基礎・生物は、全範囲を出題範囲とします。

3 大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等について

- 国語の記述式問題の得点は、大学入試センターが提供する国語記述式問題の総合評価5段階別成績結果に応じて20点満点に点数化します。大学入学共通テストの国語マーク式問題の得点(200点満点)に国語記述式問題の点数を加した上で、各コースの配点に応じて換算します。
- 大学入学共通テストにおける英語のリスニングテストの成績は全学科で利用します。利用にあたっては、リーディングテスト(100点満点)とリスニングテスト(100点満点)の合計得点200点満点を、表中「大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等」欄に従い換算した点数を利用します。  
なお、他の外国語の得点は、表中「大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等」欄に従い換算した点数を利用します。
- 幼小発達教育コース、障害児教育コース、芸術身体教育コース後期日程は、本学で指定した大学入学共通テストの受験科目の組み合わせのうち合計が高得点のものを成績とします。
- 生活社会教育コースにおける大学入学共通テストの地理歴史及び公民欄の( )の上段は、2科目受験した場合、下段は1科目受験した場合の配点を示します。
- 生活社会教育コースにおける大学入学共通テストの理科欄の( )の上段は、理科aを選択し受験した場合、下段は理科bを選択し受験した場合の配点を示します。
- \*印の教科については選択教科を示します。

4 個別学力検査等のすべてを受験した場合のみ、選考の対象となります。

本学の令和3年度入学者選抜における大学入学共通テストの成績は、令和3年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。

【入学試験に過去問題を使用することに関して】

- 本学のアドミッションポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学、「提供大学」の入試過去問題を使用して出題することがあります。
- 入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。また、使用した過去問題については、入試終了後、受験生に分かるような形で公表します。
- 「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、次のURLにて公表しています。<http://www.nyushikakomon.jp>

(2) 医学部

学部・学科	日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等																			
		教科	科目数	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選 抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点 合計										
医学部	医学科 後期	国 地歴 公民	1 1	国 世B、日B、地理B、倫・政経の4科目のうちから1科目選択	数 理  その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 物基・物、化基・化、生基・生の3科目群のうちから 2科目選択  面接	約10倍 P44「別紙」 参照	大学入学共通テ スト	200 (注)3(1)	100	100	100	600					1100									
		数	2	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B				個別学力検査等												600	600					1200	
		理	2	物、化、生の3科目のうちから2科目選択																							
		外	1	英																							
		計						200	100										700	700	600						2300
		計						200	100										700	700	600						2300
	看護学科 前期 後期	国 地歴 公民	1 1	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、 倫・政経の10科目のうちから1科目選択	その他	小論文・面接		大学入学共通テ スト	200 (注)3(1)	100	200	100	200	200				800									
		数	2	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B、簿、情報の3科目のうちから1科目選択				個別学力検査等														200	200	400			
		理	2又は1	物基、化基、生基、地基の4科目のうちから2科目選択、 または物、化、生、地の4科目のうちから1科目選択																							
		外	1	英																							
計			200	100	200	100	200	200	200	200	200	200	200	400	400												
計			200	100	200	100	200	100	200	200	200	200	400	1200													

(注1) 医学部医学科において、大学入学共通テストの成績と提出書類の内容により、第1段階選抜を行い、募集人員の約10倍を合格者とします。ただし、志願者が募集人員の10倍を超えない場合は、第1段階選抜を行いません。詳細については、今後公表します。

(注2) 看護学科の後期試験では個人面接を2回行います。

(注)

1 大学入学共通テストの利用教科・科目等

- 大学入学共通テストの「地歴」、「公民」のうちから1科目のところ2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をその成績とします。
- 大学入学共通テストの「理科」のうちから1科目のところ2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をその成績とします。
- 大学入学共通テストの「基礎を付した科目」及び「基礎を付していない科目」から3科目を受験した場合は、『理科の「基礎を付した科目」2科目合計の得点』又は『理科の「基礎を付していない科目」の得点のうち、いずれか得点の高い成績とします。

2 個別学力検査等

数 学

- 医学科の後期日程における個別学力検査等の数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは、全範囲を出題範囲とします。
- 医学科の後期日程における個別学力検査等の数学Bは、『数列』及び『ベクトル』を出題範囲とします。

物 理

- 医学科の後期日程における個別学力検査等の物理基礎・物理は、全範囲を出題範囲とします。

化 学

- 医学科の後期日程における個別学力検査等の化学基礎・化学は、全範囲を出題範囲とします。

生 物

- 医学科の後期日程における個別学力検査等の生物基礎・生物は、全範囲を出題範囲とします。

3 大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等

- 国語の記述式問題の得点は、大学入試センターが提供する国語記述式問題の総合評価5段階別成績結果に応じて20点満点に点数化します。大学入学共通テストの国語マーク式問題の得点(200点満点)に国語記述式問題の点数を加した上で、各学科の配点に応じて換算します。
- 大学入学共通テストにおける英語のリスニングテストの成績は全学科で利用します。利用にあたっては、リーディングテスト(100点満点)とリスニングテスト(100点満点)の合計得点200点満点を、表中「大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等」欄に従い換算した点数を利用します。
- 医学科後期日程においては、面接の評価が合格に達しない人は大学入学共通テストの成績及び個別学力検査等の成績に関わらず、不合格となります。
- 看護学科前期日程においては、小論文又は面接評価得点が合格基準に達しない場合、大学入学共通テストの成績と個別学力検査等の総得点が合格最低点に達していても、不合格となります。
- 看護学科後期日程においては、面接評価得点が合格基準に達しない場合、大学入学共通テストの成績と個別学力検査等の総得点が合格最低点に達していても、不合格となります。また、面接は個人面接を2回行います。

4 個別学力検査等のすべてを受験した場合のみ選考の対象となります。

本学の令和3年度入学者選抜における大学入学共通テストの成績は、令和3年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。

【入学試験に過去問題を使用することに関して】

- 本学のアドミッションポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学、「提供大学」の入試過去問題を使用して出題することがあります。
- 入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。また、使用した過去問題については、入試終了後、受験生に分かるような形で公表します。
- 「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、次のURLにて公表しています。<http://www.nyushikakomon.jp>

(3) 工学部

学部・学科	日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等														
		教科	科目数	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選 抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	配点 合計			
工学部	機械工学科	前期	国	1	国	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ 物基・物		大学入学共通テ スト	200	100	200	200	200					900		
			地歴	1	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、 政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択					(注)3(1)				200						(注)3(2)	
			公民	2	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ									250						150	
		後期	数	2	物、化	その他	面接		大学入学共通テ スト	200	100	300	300	200					1100		
			理外	2	物、化					(注)3(1)				300						(注)3(2)	
			外	1	英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択																
	電気電子工学科	前期	国	1	国	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ 物基・物、		大学入学共通テ スト	200	100	200	200	200					900		
				地歴	1					世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、 政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択				(注)3(1)						200	(注)3(2)
				公民	2					数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ										250	150
		後期	数	2	物、化	その他	面接		大学入学共通テ スト	200	100	300	300	200					1100		
			理外	2	物、化					(注)3(1)				300						(注)3(2)	
			外	1	英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択																
コンピュータ理工学科	前期	国	1	国	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ 物基・物、化基・化の2つの科目群のうちから1つ選 択（出願時に選択してください。）		大学入学共通テ スト	200	100	200	200	200					900			
			地歴	1					世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、 政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択				(注)3(1)						200	(注)3(2)	
			公民	2					数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ										250	150	
	後期	数	2	物、化	その他	面接		大学入学共通テ スト	200	100	300	300	200					1100			
		理外	2	物、化					(注)3(1)				300						(注)3(2)		
		外	1	英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択																	(注)3(3)
後期	計						計	200	100	450	350	200					1300				
	計						計	200	100	300	300	200					1100				
	計						計	200	100	300	300	200					1100				

学部・学科	日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										
		教科	科目数	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選 抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	配点 合計
工学部	情報メカトロニクス工学科	前期	国	1	国	数理	数Ⅰ・数A・数Ⅱ・数B・数Ⅲ 物基・物		大学入学共通テスト	200 (注)3(1)	100	200	200	200 (注)3(2)				900
			地歴	1	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択				個別学力検査等			250	150					400
			公民	2	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B				計	200	100	450	350	200				1300
		数理	2	物、化	その他	面接		大学入学共通テスト	200 (注)3(1)	100	300	300	200 (注)3(2)				(注)3(3)	1100
		理外	1	英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択				個別学力検査等								(注)3(3)		
		計	200	100				300	300	200		(注)3(3)	1100					
	土木環境工学科	前期	国	1	国	数理	数Ⅰ・数A・数Ⅱ・数B・数Ⅲ 物基・物、化基・化の2つの科目群のうちから1つ選択 (出願時に選択してください。)		大学入学共通テスト	200 (注)3(1)	100	200	200	200 (注)3(2)				900
			地歴	1	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択				個別学力検査等			250	150				400	
			公民	2	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B				計	200	100	450	350	200			1300	
		数理	2	物、化	その他	面接		大学入学共通テスト	200 (注)3(1)	100	300	300	200 (注)3(2)				(注)3(3)	1100
		理外	1	英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択				個別学力検査等							(注)3(3)			
		計	200	100				300	300	200		(注)3(3)	1100					
応用化学科	前期	国	1	国	数理	数Ⅰ・数A・数Ⅱ・数B・数Ⅲ 化基・化		大学入学共通テスト	200 (注)3(1)	100	200	200	200 (注)3(2)				900	
		地歴	1	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択				個別学力検査等			250	150				400		
		公民	2	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B				計	200	100	450	350	200			1300		
	数理	2	物、化	その他	面接		大学入学共通テスト	200 (注)3(1)	100	300	300	200 (注)3(2)				(注)3(3)	1100	
	理外	1	英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択				個別学力検査等							(注)3(3)				
	計	200	100				300	300	200		(注)3(3)	1100						

学部・学科	日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										
		教科	科目数	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選 抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	配点 合計
工 学 部	前期	国	1	国	数 理	数Ⅰ・数A・数Ⅱ・数B・数Ⅲ 物基・物、化基・化の2つの科目群のうちから1つ選 択（出願時に選択してください。）		大学入学共通テ スト	200 (注)3(1)	100		200	200	200 (注)3(2)				900
		地歴	1	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫 政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択				個別学力検査等			250	150						400
		公民	2	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B				計	200	100	450	350	200					1300
	後期	教	2	物、化	その他	面接		大学入学共通テ スト	200 (注)3(1)	100		300	300	200 (注)3(2)				1100
		理	2	英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択				個別学力検査等								(注)3(3)		
		外	1					計	200	100	300	300	200				(注)3(3)	1100

(注)

1 大学入学共通テストの利用教科・科目等

(1) 大学入学共通テストの「地歴」、「公民」のうちから1科目のところ2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をその成績とします。

2 個別学力検査等

**数 学**

(1) 前期日程における個別学力検査等の数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aは、全範囲を出題範囲とします。

(2) 前期日程における個別学力検査等の数学Bは、『数列』及び『ベクトル』を出題範囲とします。

**物 理**

(3) 前期日程における個別学力検査等の物理基礎・物理は、全範囲を出題範囲とします。

**化 学**

(4) 前期日程における個別学力検査等の化学基礎・化学は、全範囲を出題範囲とします。

**その他**

(5) 前期日程の個別学力検査で「物理」を受験する方は、機械工学科、電気電子工学科、コンピュータ工学科、情報メカトロニクス工学科、土木環境工学科、先端材料理工学科の間で、また、「化学」を受験する方は、コンピュータ工学科、土木環境工学科、応用化学科、先端材料理工学科の間で、志望学科に第1、第2の志望順位を付けて出願することが可能です。

(6) 後期日程においては、全学科の間で、志望学科に第1、第2の志望順位を付けて出願することが可能です。

3 大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等

(1) 国語の記述式問題の得点は、大学入試センターが提供する国語記述式問題の総合評価5段階別成績結果に応じて20点満点に換算し、大学入学共通テストの国語マーク式問題の得点（200点満点）に加点後、200点満点に換算します。

(2) 大学入学共通テストにおける英語のリスニングテストの成績は全学科で利用します。利用にあたっては、工学部ではリーディングテストを160点満点に、リスニングテストを40点満点に換算し、表中「大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等」欄に従い換算した点数を利用します。なお、他の外国語の得点は、表中「大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等」欄に従い換算した点数を利用します。

(3) 面接については、複数の面接員により行います。合格者の判定は、面接員の少なくとも1人が面接判定基準を満たしていると判定した受験生の中から、大学入学共通テストの成績に基づき合格者を決定します。

4 個別学力検査等のすべてを受験した場合のみ選考の対象となります。

本学の令和3年度入学者選抜における大学入学共通テストの成績は、令和3年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。

【入学試験に過去問題を使用することに関して】

(1) 本学のアドミッションポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学、「提供大学」の入試過去問題を使用して出題することがあります。

(2) 入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。また、使用した過去問題については、入試終了後、受験生に分かるような形で公表します。

(3) 「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、次のURLにて公表しています。<http://www.nyushikakomon.jp>

(4) 生命環境学部

『公表内容の訂正』

2018年7月30日「2020年度以降の入学選抜の基本方針」P.11(4)①一般選抜『実施教科・科目等』の公表内容において、生命工学科 前期数学選択科目を下線部分のとおり訂正します。

【訂正後】簿(簿記・会計)を削除し、数Ⅱ、数Ⅱ・数B、情報の3科目のうちから1科目選択

学部・学科	日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											
		教科	科目数	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	配点合計	
生命環境学部	前期	国	1	国	その他	小論文		大学入学共通テスト	200 (注)3(1)	50		300	250	200 (注)3(2)				1000	
		地歴	1	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択				個別学力検査等							200			200	
	公民	2	数Ⅰ、数Ⅰ・数Aの2科目のうちから1科目選択 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、情報の3科目のうちから1科目選択																
	数	2	物、化、生の3科目のうちから2科目選択																
	後期	理	1	英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択	その他	面接													
		外	1	英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択															
							計	200	50		300	250	200	200				1200	
							大学入学共通テスト	200 (注)3(1)	50		300	300	250 (注)3(2)					1100	
							個別学力検査等										(注)3(4)		
							計	200	50		300	300	250					1100	

【訂正前(2018年7月30日公表時点)】前期数学 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報の4科目のうちから1科目選択

学部・学科	日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等	
		教科	科目の指定	教科等	科目名等	
生命環境学部	前期	国	国	その他	小論文	
		地歴	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択			
		公民	数Ⅰ、数Ⅰ・数Aの2科目のうちから1科目選択 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報の4科目のうちから1科目選択			
		数	物、化、生の3科目のうちから2科目選択			
		理	英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択			
		外	英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択			
	後期	国	国	その他	面接	
		地歴	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択			
		公民	数Ⅰ、数Ⅰ・数Aの2科目のうちから1科目選択			
		数	数Ⅱ、数Ⅱ・数B、情報の3科目のうちから1科目選択			
		理	物、化、生の3科目のうちから2科目選択			
		外	英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択			

以下、3学科は、2018年7月30日「2020年度以降の入学選抜の基本方針」の公表内容から変更なし

学部・学科	日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等																
				教科等	科目名等	2段階 選 抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	配点 合計						
生命環境学部	地域食物科学科	前期	国	1	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・ 政経の10科目のうちから1科目選択 数Ⅰ、数Ⅰ・数Aの2科目のうちから1科目選択 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報の4科目のうちから1科目選択 物、化、生の3科目のうちから2科目選択 英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択	その他	小論文	大学入学共通テスト 個別学力検査等 計	100 (注)3(1)	100		300	300	200 (注)3(2)				100		1000			
			地歴	1																			
			公民	2																			
		数	2																				
		理	2																				
		外	1																				
	環境科学科	前期	国	1	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・ 政経の10科目のうちから1科目選択 数Ⅰ、数Ⅰ・数Aの2科目のうちから1科目選択 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報の4科目のうちから1科目選択 物、化、生、地の4科目のうちから2科目選択 英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択	その他	小論文	大学入学共通テスト 個別学力検査等 計	200 (注)3(1)	100		200	200	200 (注)3(2)				200			900		
			地歴	1																			
			公民	2																			
		数	2																				
		理	2																				
		外	1																				
地域社会システム学科	前期	国	1	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理Bの6科目の うちから1科目選択 現社、倫、政経、倫・政経の4科目のうちから1 科目選択 物、化、生、地から1又は2科目選択 若しくは物基、化基、生基、地基から2科目選択 (2科目で1科目とみなす) 数Ⅰ、数Ⅰ・数Aの2科目のうちから1科目選択 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報の4科目のうちから1 科目選択 英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選 択	その他	小論文	大学入学共通テスト 個別学力検査等 計	200 (注)3(1)	*100	*100	200	*100 又は200	200 (注)3(2)				200			800			
		地歴	2																				
		公民	2																				
	数	2																					
	理	3教科か ら2科目 選択																					
	外	1																					
地域社会システム学科	後期	国	1	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理Bの6科目の うちから1科目選択 現社、倫、政経、倫・政経の4科目のうちから1 科目選択 物、化、生、地から1又は2科目選択 若しくは物基、化基、生基、地基から2科目選択 (2科目で1科目とみなす) 数Ⅰ、数Ⅰ・数Aの2科目のうちから1科目選択 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報の4科目のうちから1 科目選択 英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選 択	その他	面接	大学入学共通テスト 個別学力検査等 計	200 (注)3(1)	*100	*100	200	*100 又は200	200 (注)3(2)						(注)3(4)	800			
		地歴	2																				
		公民	2																				
	数	2																					
	理	3教科か ら2科目 選択																					
	外	1																					

\*印の教科については、選択教科を示します。

(注)

1 大学入学共通テストの利用教科・科目等

(1) 生命工学科、地域食物科学科、環境科学科については大学入学共通テストの「地歴」、「公民」のうちから1科目のところ2科目受験した場合は、「第1解答科目」の得点をその成績とします。

(2) 地域社会システム学科については大学入学共通テストの「地歴」、「公民」、「理科」から3科目以上受験した場合は、得点の高い2科目の合計をその成績とします。ただし、「地歴」又は「公民」において同一教科で2科目以上受験した時は、受験した2科目のうち得点の高い1科目のみを成績として利用します。

## 2 個別学力検査等

### 小論文

(1) 前期日程における個別学力検査等の小論文試験では、総合的な設問により、知識・技能、思考力・判断力・表現力を評価します。出題のねらいと出題パターンは、以下のとおりです。

1) 文章理解力・論述力の評価(文章読解型): 課題となる文章(英文やデータ資料等を含む場合がある)が提示されます。この課題文の内容理解に基づいて、設問の求めるところを考察し、論述をしていただきます。

2) 図表データの分析力・表現力の評価(資料データ分析型): 図・表を含むデータ資料(英文や英語表記を含む場合がある)が提示されます。そのデータを分析、または解釈し、特徴や傾向の理解に基づいて、設問の求めに応じた論述や作図をしていただきます。

## 3 大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等

(1) 国語の記述式問題の得点は、大学入試センターが提供する国語記述式問題の総合評価5段階別成績結果に応じて20点満点に点数化します。大学入学共通テストの国語マーク式問題の得点(200点満点)に国語記述式問題の点数を加点した上で、各学科の配点に応じて換算します。

(2) 大学入学共通テストにおける英語のリスニングテストの成績は全学科で利用します。各学科のリーディングテスト(100点満点)・リスニングテスト(100点満点)の配点比率は次のとおりです。

生命工学科ではリーディングテストとリスニングテストの素点を利用します。

地域食物科学科、環境科学科、地域社会システム学科ではリーディングテストを150点満点に、リスニングテストを50点満点に換算します。

なお、外国語の得点は、表中「大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等」欄に従い換算した点数を利用します。

(3) \*印の教科については、選択教科を示します。

(4) 後期日程においては、面接試験及び大学入学共通テストの成績により選考します。

## 4 個別学力検査等のすべてを受験した場合のみ選考の対象となります。

## 5 その他

(1) 地域食物科学科ワイン科学特別コースを希望する志願者は、出願時に申し出ることとなります。なお、ワイン科学特別コースの志願者は、地域食物科学科(前期日程募集)を第2志望とすることが可能です。

(2) 地域社会システム学科観光政策科学特別コースを希望する志願者は、出願時に申し出ることとなります。なお、観光政策科学特別コースの志願者は、地域社会システム学科(前期日程募集)を第2志望とすることが可能です。

本学の令和3年度入学者選抜における大学入学共通テストの成績は、令和3年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。

## 【入学試験に過去問題を使用することに関して】

(1) 本学のアドミッションポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学、「提供大学」の入試過去問題を使用して出題することがあります。

(2) 入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。また、使用した過去問題については、入試終了後、受験生に分かるような形で公表します。

(3) 「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、次の URL にて公表しています。<http://www.nyushikakomon.jp>

## 2 段階選抜について

志願者数が募集人員の所定の倍率を超えた場合は、第1段階選抜を行い、第1段階合格者に対して、個別学力検査等を実施します。

### 【医学部医学科後期日程】

大学入学共通テストの成績と調査書の内容により、第1段階選抜を行い、募集人員の約10倍を合格者とします。ただし、志願者が募集人員の10倍を超えない場合は、第1段階選抜を行いません。

なお、大学入学共通テストの配点は、下記のとおりとし、調査書は総合判定の資料とします。

国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	合計
200	100		200	200	200	900

『学校推薦型選抜Ⅱ(地域枠)』の選抜方法について

医学部 医学科

学部・学科	選抜	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									
		教科	科目数	科目名等	教科等	科目名等	第1次選考	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点合計
医学部	医学科	学校推薦型選抜Ⅱ	国 地歴 公民 数 理 外	1 1 2 2 1	国 世B、日B、地理B、【倫・政経】の4科目のうちから1科目選択 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物、化、生の3科目のうちから2科目選択 英	その他 面接	約1.5倍	大学入学共通テスト 個別学力検査等 計	200 (注)2(1) 200	100 100	200 200	200 200	200 200			900 900	

(注)

1 入学者の選抜は、第1次選考及び第2次選考により行います。

① 第1次選考

学校長から提出された推薦書、調査書及び多面的・総合的な評価のための申告書並びに大学入学共通テストの成績により第1次選考の合格者を決定します。

なお、第1次選考の合格者数は、募集人員の約1.5倍とします。

ただし、志願者が募集人員の約1.5倍を超えない場合は、第1次選考を行いません。

② 第2次選考

第1次選考の合格者に対して、面接を課し、この評価及び学校長から提出された推薦書、調査書及び多面的・総合的な評価のための申告書並びに大学入学共通テストの成績を総合評価して、入学者を選抜します。

なお、面接では学校長から提出された推薦書、調査書及び多面的・総合的な評価のための申告書の記載内容を確認補充するとともに、人間性豊かな医師及び創造性に富んだ医学研究者になるにふさわしい適性をみます。さらに、将来山梨県内(本学を含む)で診療に従事する理由や意欲等もみます。

2 大学入学共通テストの配点

第1次選考及び第2次選考とも大学入学共通テストの配点上記表のとおりです。

(1) 国語の記述式問題の得点は、大学入試センターが提供する国語記述式問題の総合評価5段階別成績結果に応じて20点満点に点数化します。大学入学共通テストの国語マーク式問題の得点(200点満点)に国語記述式問題の点数を加点した上で、各学科の配点に応じて換算します。

(2) 外国語の英語は、リーディングテスト(100点満点)とリスニングテスト(100点満点)の合計点数を200点満点として利用します。

総合型選抜

(1) 工学部

学部・学科	選抜	選抜方法	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等																											
			教科	科目数	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	調査書	多面的・総合的な評価のための申告書	志願者評価書	面接用事前レポート	その他	配点合計										
工学部	機械工学科	総合型選抜Ⅱ	提出書類と面接による個別学力検査を実施します。そして個別学力検査合格者の中から、大学入学共通テストの点数を考慮して最終合格者を決定します。	国	1	国	その他	面接		大学入学共通テスト	100	50	150	150	150											600								
				地歴	1	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫					数I・数A、数II・数B				2												物、化	2	600	(注)4	(注)4	(注)4	600	
				公民	2	政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択																												
	電気電子工学科	総合型選抜Ⅱ	提出書類、小論文および面接による個別学力検査を実施します。個別学力検査合格者のうち、大学入学共通テストの点数が基礎学力判定基準を満たす者の中から、個別学力検査の点数により最終合格者を決定します。	国	1	国	その他	小論文、面接		大学入学共通テスト	(200)		(200)	(200)	(200)											(800)								
				数	2	数I・数A、数II・数B					2				物、化												1	50	(注)5.1	400				
				理	1	物、化																												
	工学部	コンピュータ理工学科	総合型選抜Ⅰ	提出書類および個別学力検査の結果により最終合格者を決定します。				その他	小論文、面接	大学入学共通テスト						300	90	80								470								
																											総合型選抜Ⅱ	提出書類によって第一段階選抜を実施します。第一段階選抜を通過した者の中から、大学入学共通テストの点数により最終合格者を決定します。	数	2	数I・数A、数II・数B	2	物、化、生のうちから2科目選択	200
			総合型選抜Ⅱ	提出書類によって第一段階選抜を実施します。第一段階選抜を通過した者の中から、大学入学共通テストの点数により最終合格者を決定します。	理	2	物、化、生のうちから2科目選択	2	物、化、生のうちから2科目選択	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200								
					数	2	数I・数A、数II・数B																											
		情報メカトロニクス工学科	総合型選抜Ⅱ	小論文・面接・調査書による個別学力検査を実施します。そして個別学力検査合格者の中から、大学入学共通テストの点数を考慮して最終合格者を決定します。	国	1	国	その他	小論文、面接		大学入学共通テスト	200	100	200	200	200												900						
					地歴	1	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫					2				物、化													2	200	(注)6	適・否	面接に含む	面接に含む
公民					2	政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択																												
数					2	数I・数A、数II・数B																												
理		2	物、化	2	英、独、仏、中、韓の5科目のうちから1科目選択	2	200	100	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	1300									
公民		1	政経、倫・政経の10科目のうちから1科目選択																															

学部・学科	選抜	選抜方法	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等																						
			教科	科目数	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	実技	面接	調査書	多面的・総合的な評価のための申告書	志願者評価書	面接用事前レポート	その他	配点合計					
工学部	土木環境工学科	総合型選抜Ⅱ	小論文と面接による個別学力検査を実施します。提出書類を合否判定の参考とします。そして個別学力検査合格者の中から、大学入学共通テストの点数により最終合格者を決定します。	国 地歴 公民 数 理 外	1 国 1 世 A、世 B、日 A、日 B、地理 A、地理 B、現社、倫、政経、倫・政経の 10 科目のうちから 1 科目選択 2 数Ⅰ・数 A、数Ⅱ・数 B 2 物、化 1 英、独、仏、中、韓の 5 科目のうちから 1 科目選択	その他	小論文、面接	2	大学入学共通テスト	200	100	300	300	200										1100					
									個別学力検査等					300	150	50	(注)7	(注)7										500	
									計	200	100	300	300	200	300					150	50								
	応用化学科	総合型選抜Ⅰ	個別学力検査にて合格者を決定します。	理	1 化 数Ⅰ・数 A、数Ⅱ・数 B 2 物 英	その他	面接、実技、口頭試問または化学グランプリの一次選考の成績	2	大学入学共通テスト																				
									個別学力検査等					50	50	20	(注)8	(注)9								50	120		
									計																				
	先端材料工学科	総合型選抜Ⅱ	提出書類と面接による個別学力検査を実施します。そして個別学力検査合格者の中から、大学入学共通テストの点数を考慮して最終合格者を決定します。	理	1 化 数Ⅰ・数 A、数Ⅱ・数 B 2 物 英	その他	面接	2	大学入学共通テスト				「数Ⅰ・A」 「数Ⅱ・B」 各 50	化 100 物 50	50	(注)2(2)										200			
									個別学力検査等																				20
									計																				
	先端材料工学科	総合型選抜Ⅱ	提出書類と面接、小論文による個別学力検査を実施し、個別学力検査合格者の中から大学入学共通テストの点数を考慮して最終合格者を決定します。	国 地歴 公民 数 理 外	1 国 1 世 A、世 B、日 A、日 B、地理 A、地理 B、現社、倫、政経、倫・政経の 10 科目のうちから 1 科目選択 2 数Ⅰ・数 A、数Ⅱ・数 B 2 物、化 1 英、独、仏、中、韓の 5 科目のうちから 1 科目選択	その他	小論文、面接	2	大学入学共通テスト	200	100	200	200	200	200	(注)2(2)										900			
									個別学力検査等										40	60	(注)12	(注)12	(注)12						100
									計	200	100	200	200	200	200	40	60												

- (注)
- 大学入学共通テストの利用教科・科目等
    - 大学入学共通テストの「地歴」、「公民」のうちから 1 科目のところ 2 科目受験した場合は、「第 1 解答科目」の得点をその成績とします。
  - 大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等
    - 国語の記述式問題の得点は、大学入試センターが提供する国語記述式問題の総合評価 5 段階別成績結果に応じて 20 点満点に換算し、大学入学共通テストの国語マーク式問題の得点 (200 点満点) に加算後、200 点満点に換算し、各学科の配点に応じて換算します。
    - 大学入学共通テストにおける英語のリスニングテストの成績は全学科で利用します。利用にあたっては、工学部ではリーディングテストを 160 点満点、リスニングテストを 40 点満点に換算し、表中「大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等」欄に従い換算した点数を利用します。なお、他の外国語の得点は、表中「大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等」欄に従い換算した点数を利用します。
  - 個別学力検査等のすべてを受験した場合のみ選考の対象となります。
  - 調査書や多面的・総合的な評価のための申告書、面接用事前レポートは面接時の参考として利用します。
  - 電気電子工学科では、個別学力検査を重視し、大学入学共通テストは基礎学力の参考として利用します。
  - 電気電子工学科では、多面的・総合的な評価のための申告書を個別学力検査の面接試験において参考にします。
  - 「多面的・総合的な評価のための申告書」および「志願者評価書」を基に面接を実施します。
  - 提出書類の扱いについては、アドミッションポリシーを参照してください。
  - 化学に関する口頭試問 (面接) あるいは化学グランプリの一次選考の成績 (その他) で評価します。
  - 一般面接、ならびに多面的・総合的な評価のための申告書をそれぞれ評価し、合格基準を満たしていると判定した受験生の中から、総合点に基づき合格者を決定します。
  - 応用化学科の総合型選抜Ⅱでは、「数学Ⅰ・数学 A」、「数学Ⅱ・数学 B」、「物理」、「英語」の 4 科目をそれぞれ 50 点満点に換算し、その中から得点のより高い 2 科目を大学側で採用します。(志願者の選択は要しません。)
  - 一般面接、ならびに調査書をそれぞれ評価し、合格基準を満たしていると判定した受験生の中から、総合点に基づき合格者を決定します。総合型選抜Ⅰの受験生は一般面接を免除する場合があります。
  - 調査書、多面的・総合的な評価のための申告書、志願者評価書をそれぞれ評価し、合格基準を満たしていると判定した受験生の中から、総合点に基づき合格者を決定します。

本学の令和 3 年度入学者選抜における大学入学共通テストの成績は、令和 3 年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。

【入試試験に過去問題を使用することに関して】

- 本学のアドミッションポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学、「提供大学」の入試過去問題を使用して出題することがあります。
- 入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。また、使用した過去問題については、入試終了後、受験生に分かるような形で公表します。
- 「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、次の URL にて公表しています。<http://www.nyushikakomon.jp>

(2) 生命環境学部

学部・学科	選抜	大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等												
		教科	科目数	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	面接	配点合計				
生命環境学部	生命工学科	総合型選抜Ⅱ	国	1	国 世 A、世 B、日 A、日 B、地理 A、地理 B、現社、倫、政経、倫・政経の 10 科目のうちから 1 科目選択 数Ⅰ、数Ⅰ・数 A の 2 科目のうちから 1 科目選択 数Ⅱ、数Ⅱ・数 B、簿、情報の 4 科目のうちから 1 科目選択 物、化、生の 3 科目のうちから 2 科目選択 英、独、仏、中、韓の 5 科目のうちから 1 科目選択	その他	面接		大学入学共通テスト	200 (注)2(1)	100		200	200	200 (注)2(2)		900			
			公民	1					その他	面接		個別学力検査等							(注)2(4)	
			数	2								計	200	100		200	200	200		900
	理	2																		
	地域食物科学科	総合型選抜Ⅱ	国	1	国 世 A、世 B、日 A、日 B、地理 A、地理 B、現社、倫、政経、倫・政経の 10 科目のうちから 1 科目選択 数Ⅰ、数Ⅰ・数 A の 2 科目のうちから 1 科目選択 数Ⅱ、数Ⅱ・数 B、簿、情報の 4 科目のうちから 1 科目選択 物、化、生の 3 科目のうちから 2 科目選択 英、独、仏、中、韓の 5 科目のうちから 1 科目選択	その他	面接		大学入学共通テスト	200 (注)2(1)	100		200	200	200 (注)2(2)		900			
			公民	1					その他	面接		個別学力検査等						(注)2(4)		
			数	2								計	200	100		200	200	200		900
	理	2																		
	環境科学科	総合型選抜Ⅱ	国	1	国 世 A、世 B、日 A、日 B、地理 A、地理 B、現社、倫、政経、倫・政経の 10 科目のうちから 1 科目選択 数Ⅰ、数Ⅰ・数 A の 2 科目のうちから 1 科目選択 数Ⅱ、数Ⅱ・数 B、簿、情報の 4 科目のうちから 1 科目選択 物、化、生、地の 4 科目のうちから 2 科目選択 英、独、仏、中、韓の 5 科目のうちから 1 科目選択	その他	面接		大学入学共通テスト	200 (注)2(1)	100		200	200	200 (注)2(2)		900			
			公民	1					その他	面接		個別学力検査等						(注)2(4)		
			数	2								計	200	100		200	200	200		900
	理	2																		
地域社会システム科学科	総合型選抜Ⅱ	国	1	国 世 A、世 B、日 A、日 B、地理 A、地理 B の 6 科目のうちから 1 科目選択 現社、倫、政経、倫・政経の 4 科目のうちから 1 科目選択 物、化、生、地から 1 又は 2 科目選択 若しくは物基、化基、生基、地基から 2 科目選択 (2 科目で 1 科目とみなす) 数Ⅰ、数Ⅰ・数 A の 2 科目のうちから 1 科目選択 数Ⅱ、数Ⅱ・数 B、簿、情報の 4 科目のうちから 1 科目選択 英、独、仏、中、韓の 5 科目のうちから 1 科目選択	その他	面接		大学入学共通テスト	200 (注)2(1)	*100	*100	200	*100 又は 200	200 (注)2(2)		800				
		公民	2					その他	面接		個別学力検査等						(注)2(4)			
		理	3教科から 2科目選択								計	200	*100	*100	200	*100 又は 200	200		800	
数	2																			
外	1																			

\*印の教科については、選択教科を示します。

(注)

1 大学入学共通テストの利用教科・科目等

- (1) 生命工学科、地域食物科学科、環境科学科については大学入学共通テストの「地歴」、「公民」のうちから 1 科目のところ 2 科目受験した場合は、「第 1 解答科目」の得点をその成績とします。
- (2) 地域社会システム科学科については大学入学共通テストの「地歴」、「公民」、「理科」から 3 科目以上受験した場合は、得点の高い 2 科目の合計をその成績とします。ただし、「地歴」又は「公民」において同一教科で 2 科目以上受験した時は、受験した 2 科目のうち得点の高い 1 科目のみを成績として利用します。

2 大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等

- (1) 国語の記述式問題の得点は、大学入試センターが提供する国語記述式問題の総合評価 5 段階別成績結果に応じて 20 点満点に点数化します。大学入学共通テストの国語マーク式問題の得点 (200 点満点) に国語記述式問題の点数を加した上で、各学科の配点に応じて換算します。
- (2) 大学入学共通テストにおける英語のリスニングテストの成績は全学科で利用します。各学科のリーディングテスト (100 点満点)・リスニングテスト (100 点満点) の配点比率は次のとおりです。  
生命工学科ではリーディングテストとリスニングテストの素点を利用します。  
地域食物科学科、環境科学科、地域社会システム科学科ではリーディングテストを 150 点満点に、リスニングテストを 50 点満点に換算します。  
なお、外国語の得点は、表中「大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等」欄に従い換算した点数を利用します。

(3) \*印の教科については、選択教科を示します。

(4) 面接試験及び大学入学共通テストの成績により選考します。

3 個別学力検査等のすべてを受験した場合のみ選考の対象となります。

4 「調査書」、「多面的・総合的な評価のための申告書」及び「志願者評価書」の扱いについては、アドミッションポリシーを参照してください。

本学の令和3年度入学者選抜における大学入学共通テストの成績は、令和3年度大学入学共通テストの成績のみ利用します。

【入学試験に過去問題を使用することに関して】

(1) 本学のアドミッションポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学、「提供大学」の入試過去問題を使用して出題することがあります。

(2) 入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。また、使用した過去問題については、入試終了後、受験生に分かるような形で公表します。

(3) 「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、次の URL にて公表しています。<http://www.nyushikakomon.jp>

### Ⅲ 入試情報に関するホームページ等

山梨大学ホームページアドレス	<a href="https://www.yamanashi.ac.jp">https://www.yamanashi.ac.jp</a>
募集要項掲載ページアドレス	<a href="https://www.yamanashi.ac.jp/admission/291">https://www.yamanashi.ac.jp/admission/291</a>
Web 出願サイトアドレス	<a href="https://syutugan.yamanashi.ac.jp">https://syutugan.yamanashi.ac.jp</a>

★新入試に関する問い合わせ	山梨大学アドミッションセンター TEL 055-220-8191（鈴木）・8265（藤） <a href="http://www.admission.yamanashi.ac.jp/">http://www.admission.yamanashi.ac.jp/</a>
---------------	--